

2010 年春季年会

年会プログラム

於 広島大学

2010 年 3 月 24 日 (水) ~ 3 月 27 日 (土)

日本天文学会

日本天文学会 2010 年春季年会プログラム

期 日 2010 年 3 月 24 日 (水) ～ 3 月 27 日 (土)

場 所 広島大学 (広島県東広島市)

電 話 090 - 4387 - 6893 <使用期間 2010 年 3 月 23 日 (火) ～ 3 月 28 日 (日) >

日 程

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
3月23日 (火)								記者会見				
3月24日 (水)	A	受付			S. 銀河核 N. 恒星 X. 銀河形成 U. 宇宙論 Y. 教育・他 K. 超新星爆発 R. 銀河			天文教育 フォーラム (E会場)		S. 銀河核 N. 恒星/L. 太陽系 X. 銀河形成 U. 宇宙論 Y. 教育・他 K. 超新星爆発 R. 銀河		
	B											
	C											
	D											
	E											
	F											
	G											
3月25日 (木)	A	受付	T. 銀河団	ポスター	昼休み	P. 星・惑星 V. 地上観 X. 銀河形成 J. 高密度星 A. Fermi W. 飛翔観 Q. 星間	研究奨励賞 受賞記念講演 (E会場)	ALMA 特別セッション (E会場)				
	B		L. 太陽系									
	C		X. 銀河形成									
	D		J. 高密度星									
	E		A. Fermi									
	F		W. 飛翔観									
	G		Q. 星間									
3月26日 (金)	A	受付	P. 星・惑星	ポスター	昼休み (理事会)	P. 星・惑星 V. 地上観 M. 太陽 J. 高密度星 B. T M T W. 飛翔観 Q. 星間	総会 出席者確認	総会 (E会場)		林 賞 受 賞 記 念 講 演	懇親会	
	B		V. 地上観									
	C		M. 太陽									
	D		J. 高密度星									
	E		B. T M T									
	F		W. 飛翔観									
	G		Q. 星間									
3月27日 (土)	A	受付	P. 星・惑星	ポスター	昼休み (評議員会)	P. 星・惑星 V. 地上観 W. 飛翔観	ジュニアセッション					
	B		V. 地上観									
	C		M. 太陽									
	D		J. 高密度星									
	E		B. T M T									
	F		W. 飛翔観									
	G											
3月28日 (日)							公開講演会					
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19

A会場 : 法経 B 155
 B会場 : 法経 B 157
 C会場 : 法経 B 159
 D会場 : 法経 B 255
 E会場 : 法経 B 257
 F会場 : 理 E 002
 G会場 : 理 E 102

受付 : 法経 1F ロビー
 会議室 : 理 A 017
 ポスター会場 1 : 理 E 104
 ポスター会場 2 : 理 E 208
 ポスター会場 3 : 理 E 209
 ポスター会場 4 : 理 E 211
 ポスター会場 5 : 理 E 210
 ポスター会場 6 : 理 E 203 ジュニアセッション
 展示コーナー : 法経 1F ロビー、理 1F ロビー
 懇親会会場 : 生協食堂

◎講演数

講演数：合計 650

(口頭講演 (a)：412、ポスター講演 (b)：186、ポスター講演 (c)：52)

◎参加登録について (参加者は、当日必ず参加登録をしてください。)

○参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)
(但し会員で講演有りの場合、参加費は無料)		
講演登録費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み) (1 講演につき)
年会予稿集	1,000 円 (消費税込み)	1,000 円 (消費税込み) (購入希望者のみ)

○参加登録受付場所：受付 (法経 1F ロビー)

○参加登録受付時間：3月24日 11:00～16:00
 3月25日 09:00～16:00
 3月26日 09:00～16:00
 3月27日 09:00～14:00

※参加費・講演登録費は、会期中に受付にて忘れずにご納付ください。

※参加費用支払い時に渡される領収書は、所属機関で必要となる場合もありますので、大切に保管してください。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても、講演登録費を支払う必要があります。

※懇親会に参加される方は、隣の懇親会専用の受付にて懇親会の参加費をお支払いください。

※インターネットを利用される方は、隣の専用受付で利用申請してください。学内無線 LAN が使用可能です。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は7会場で行います。口頭講演(添字 a)は、口頭発表9分、質疑応答3分です。ポスター講演(添字 b)は、口頭発表3分、3講演で12分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表(添字 b)、(添字 c)は、3月24日の12:00から3月27日の13:30までポスター会場の指定された場所に掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。ポスターサイズは縦180cm×横90cmです。
3. 講演には液晶プロジェクタをご使用ください。液晶プロジェクタは、セッション開始前にPCの接続を確認してください。OHP使用の申込があった講演については、書画カメラを準備しております。書画カメラ使用の場合は、A4の紙で発表をご用意ください。講演時間は、直前の講演者が降壇した時点から計り始めます。迅速に講演が始められるよう、次の講演者は前の講演中にPCを接続しておいてください。

◎会期中の行事

月 日	時 間	会 場	行 事 名
3月23日	14:00～15:00	本部2階会議室	記者会見 年会講演の中から、数件のトピックスを選び、記者会見を行います。
3月24日	15:00～16:20	E会場	天文教育フォーラム
3月25日	15:30～16:30	E会場	研究奨励賞受賞記念講演
	16:30～18:00	E会場	ALMA 特別セッション
3月26日	15:30～17:00 (15:30～16:00 総会出席者確認、16:00 総会開始)	E会場	総 会 ○各賞の受賞 ○2009年度事業報告 ○2009年度決算報告 ○監査報告
	17:00～17:30	E会場	林忠四郎賞受賞記念講演
	18:00～	大学生協食堂	懇親会
3月27日	13:30～16:10	東広島市中央公民館大ホール	公開講演会

◎会合一覧表

月 日	時 間	会 場	会 合 名	一般参加可否
3月25日	12:30～13:30	A会場	宇宙電波懇談会総会	C
	12:30～13:30	E会場	第1回男女共同参画タウンミーティング	A
3月26日	12:30～13:30	会議室	理事会	D
	12:30～13:30	A会場	光学赤外線天文連絡会総会	B
3月27日	12:30～13:30	会議室	評議員会	D
	12:30～13:30	A会場	「あかり」全天サーベイ点源カタログの一般公開説明会	A
	12:30～13:30	D会場	天文天体物理学若手の会総会	C
未定	12:30～13:30		天文教育委員会	D

※一般参加可否の説明（オープン化の程度）

- A: 誰でも大歓迎で是非来てほしい
- B: 興味を持った人には広く門戸を開いている
- C: 関係グループ向けのものだが部外者も特に拒みはしない
- D: 関係者のみにクローズした非公開の会合

◎天文教育フォーラム

テ ー マ : 「世界天文年後の天文教育と普及」

日 時 : 2010年3月24日(水) 15:00～16:20

場 所 : E会場

概 要 : 昨年、2009年は世界天文年で、年末にはグランドフィナーレが神戸で開催され、その幕を閉じました。天文学関係者にはさまざまな面でこのイベントと関連をもたれた方も多かったのではないのでしょうか。また、天文現象にも事欠きませんでした。特に7月の皆既日食はメディアでも大きく取り上げられました。この世界天文年を機会に多くの天文教育普及活動が世界中でくり広げられました。その中には従来の個々の活動が全国的に組織化されたり、新たな試みに取り組みられた例もあったでしょう。世界天文年に関連したイベント等も各地で催され、普段は天文学に関心の薄い層の人たちにも天文学をアピールすることもできたでしょう。しかし、昨年に盛り上がったこのような活動を一過性のものとして終わらせるのではなく、これを契機として、一般市民までも巻き込んだ息の長い天文学の教育普及活動に繋げてゆくことは重要であると考えられます。そこで、今後継続的であることが期待される企画のいくつかから、その経過と課題や問題点等を中心に報告していただき、世界天文年後の天文教育と普及について今後の展望を拓きたいと思えます。

話題提供者 : 1. 世界天文年をきっかけとして 「宙博」 藤原 洋 (インターネット総合研究所)
 2. 学校教育への影響 「君もガリレオ」 縣 秀彦 (国立天文台)
 3. 文化／普及面への寄与 「アジアの星の神話・伝説」 吉田二美 (国立天文台)
 4. 研究者側からの発信 「全国同時七夕講演会」 柴田一成 (京都大学)

実行委員 : 仲野 誠 (大分大学)、加藤一孝 (広島市こども文化科学館)、中道晶香 (京都産業大学)、熊谷紫麻見 (日本大学)

◎ALMA 特別セッション

日 時 : 2010年3月25日(木) 16:30～18:00

場 所 : E会場

概 要 : 日米欧3極による国際プロジェクトであるALMA(アタカマミリ波サブミリ波干渉計)の建設は急ピッチで進んでおり、2010年度にはいよいよ初期運用の観測が公募される予定です。今回の特別セッションでは、このようなプロジェクトの進捗や初期運用で提供される望遠鏡性能を紹介し、ALMAの共同利用観測の全体像や、ALMA東アジア地域センター(EA-ARC)が提供するサービスの内容について説明し質疑を行います。

さらに、目前に迫った科学運用に日本の研究者が積極的に参加する機運を盛り上げるため、星・惑星系形成と系外銀河の分野からお二人の方に、本格運用期も展望しつつALMA初期運用における魅力を講演していただきます。

プログラム : 1. はじめに 立松健一(国立天文台)
 2. プロジェクト進捗、そして初期観測 井口 聖(国立天文台)
 3. アルマの共同利用とは 奥村幸子(国立天文台)
 4. 第1回観測提案までに準備されるユーザー支援 立原研悟(国立天文台)
 - 共同利用のためのツール群
 - Helpdesk 窓口について
 5. ALMA共同利用開始への期待
 - 星・惑星系形成分野から 百瀬宗武(茨城大学)
 - 系外銀河分野から 河野孝太郎(東京大学)

世 話 人 : 森田耕一郎・立松健一(国立天文台)

◎日本天文学会公開講演会

テーマ：「広島から宇宙を探る：天文研究フロンティア」

日 時：2010年3月28日(日) 13:30～16:10 (開場 12:30)

場 所：東広島市中央公民館大ホール

[http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/icity/browser?](http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/icity/browser?ActionCode=content&ContentID=1189671563765&SiteID=0)

[ActionCode=content&ContentID=1189671563765&SiteID=0](http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/icity/browser?ActionCode=content&ContentID=1189671563765&SiteID=0)

対 象：中学生以上・一般向け

内 容：4講演。

- | | |
|------------------------------------|--------------|
| (1) 「『第二の地球』探査と生命の存在確認に向けて」 | 観山正見 (国立天文台) |
| (2) 「石をみる：イオン顕微鏡 SHRIMP で探る太陽系の歴史」 | 寺田健太郎 (広島大学) |
| (3) 「地上からみる：かなた望遠鏡で探る突発性天体」 | 大杉 節 (広島大学) |
| (4) 「上空からみる：フェルミ衛星が描き出すガンマ線宇宙」 | 深澤泰司 (広島大学) |

4つの講演終了後、希望者による東広島天文台見学も予定しています。

人数制限がありますのでご注意ください。詳細は次項をご覧ください。

趣 旨：昨年世界天文年で、宇宙の話題に触れた方も多かったと思います。日本天文学会では年会開催時に、専門研究者以外の方を対象とした講演会を開催しており、今回は、広島に縁のある4名の研究者の方々に最先端の研究についてご紹介させていただきます。

第二の地球はあるのか？ 宇宙人はいるのか？ 東広島市福富町出身である自然科学研究機構国立天文台の観山正見台長に、多くの人々が関心を寄せるこのテーマについて、最新の研究を交えてご紹介いただきます。

天文の研究といえば望遠鏡で空を眺めるというイメージが強いですが、広島大学大学院理学研究科の寺田健太郎准教授には、顕微鏡を用いる一風変わった研究方法についてご紹介いただきます。

宇宙は悠久不変のイメージがありますが、短い時間で激しく変化する現象もあります。広島大学宇宙科学センターの大杉節センター長には、こうした劇的な変化を示す宇宙の一面をどのように捕らえるのか、それによってどんなことがわかるのかをご紹介させていただきます。

地球上に留まっているだけでは知ることができない宇宙の様子もあります。広島大学大学院理学研究科の深澤泰司教授には、人工衛星に搭載した観測装置を用いて初めて明らかになった意外な宇宙の姿をご紹介いただきます。

いずれも、なかなか聞くことができないテーマです。奮ってご参加ください。

申 込：事前の参加申し込みは不要。当日、会場にて受付してください。ただし、会場定員 952 名を越える場合には入場制限をすることがあります。入場無料。

◎東広島天文台見学

日 時：2010年3月28日(日) 16:30～18:55 (参加受付開始 12:30)

集合場所：東広島市中央公民館大ホール (公開講演会会場)

[http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/icity/browser?](http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/icity/browser?ActionCode=content&ContentID=1189671563765&SiteID=0)

[ActionCode=content&ContentID=1189671563765&SiteID=0](http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/icity/browser?ActionCode=content&ContentID=1189671563765&SiteID=0)

対 象：中学生以上・一般向け

内 容：広島大学東広島天文台を広島大学の研究者の案内で見学します。送迎バス付き。

16:30 東広島市公民館前 (プールバール沿い) 出発

17:00 東広島天文台 到着

18:00 東広島天文台 出発 (東広島駅経由)

18:35 東広島市公民館前 到着

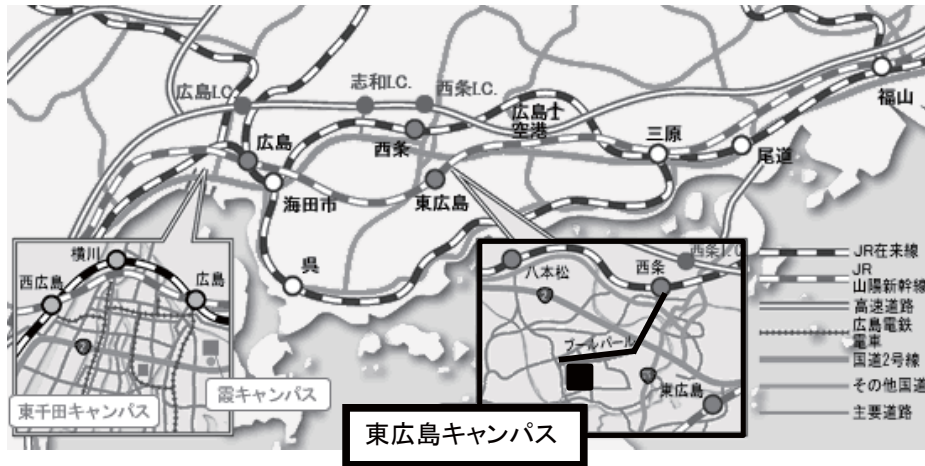
(18:55 広島大学中央口付近 到着)

※移動時間は道路事情により多少変わることがあります。

申 込：事前の参加申し込みは不要。公開講演会会場にて受付してください。

定 員：先着順 100 名。参加無料。

○春季年会会場(広島大学・東広島キャンパス)のご案内



交通情報

●JR山陽本線西条駅からの場合

広島駅から山陽本線普通列車で三原方面、「西条駅」下車(30-37分)
 (呉線に乗らないように注意してください)
 駅前から、「広島大学」行きバス、「広大中央口」下車(12分)

帰りは、「広大中央口」バス停から同じ進行方向のバスに乗ると、広大キャンパスを1周して西条駅に戻ります。

●新幹線東広島駅からの場合

バスは、7:55,9:00,10:50,12:00(2009年11月の時点)のみ。
 「広大中央口」下車。所要時間20分
 タクシー 約2000円(20分ほど)

帰りのバスは、「広大中央口」から 14:47,16:47,17:22,18:02 のみ(2010年1月の時点)

●広島空港からの場合

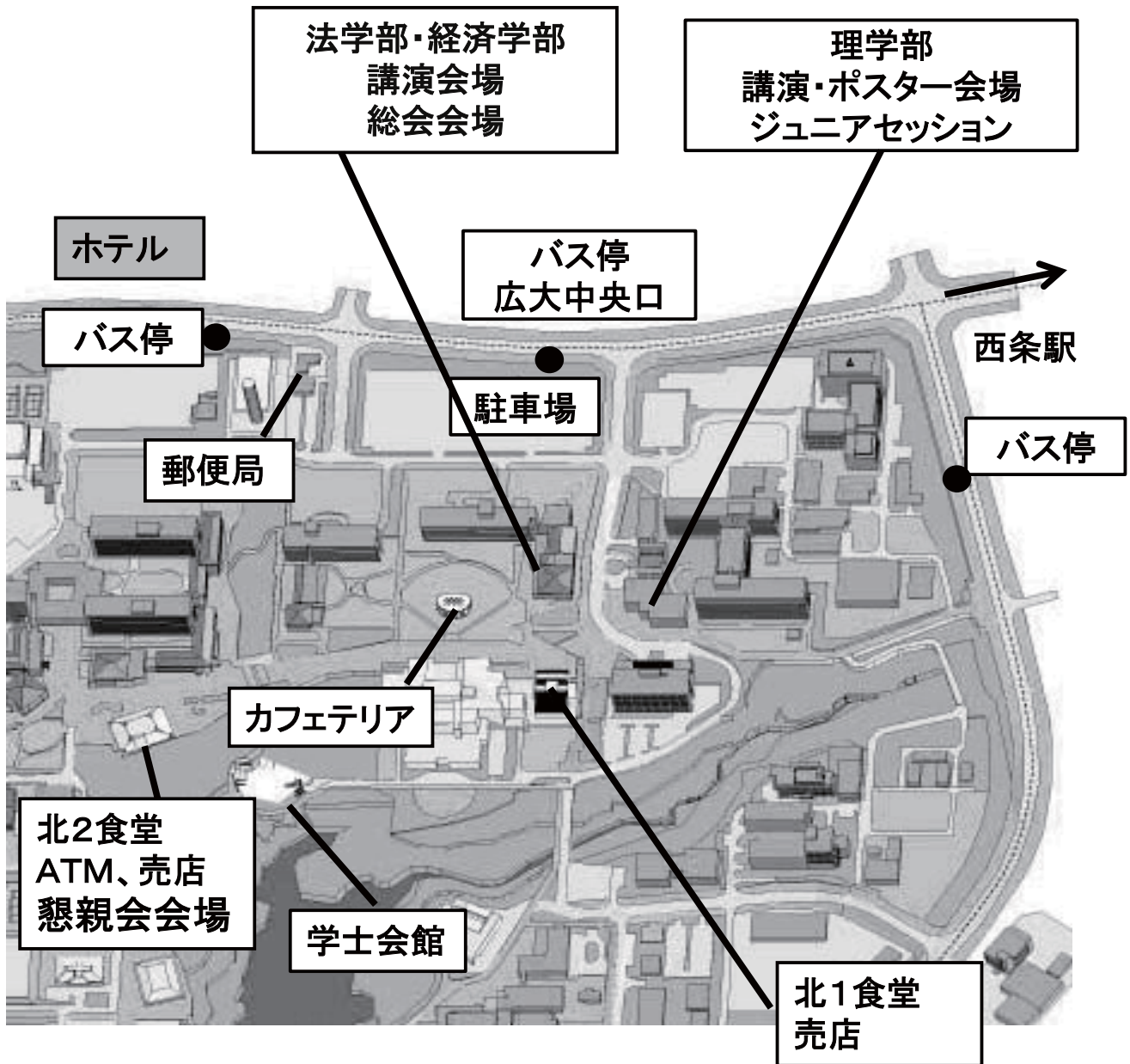
路線バス(空港玄関を出たところに駐車場)で山陽本線「白市駅」まで(13分)
 山陽本線広島方面行きで、「西条駅」下車(7分)

タクシー 約7000円(45分ほど)

●広島西飛行場からの場合

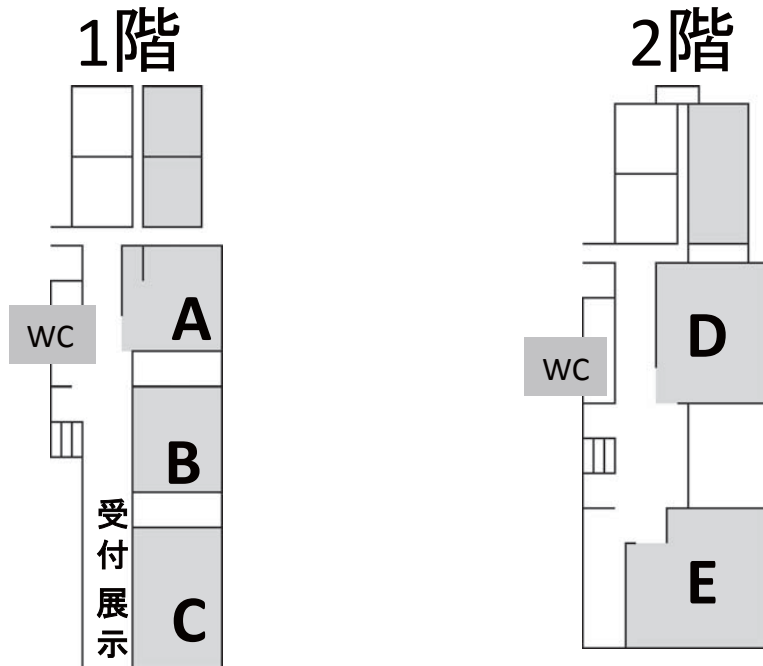
バスまたはタクシーで「広島駅」まで行き(30分)、あとは山陽本線で

キャンパスマップ

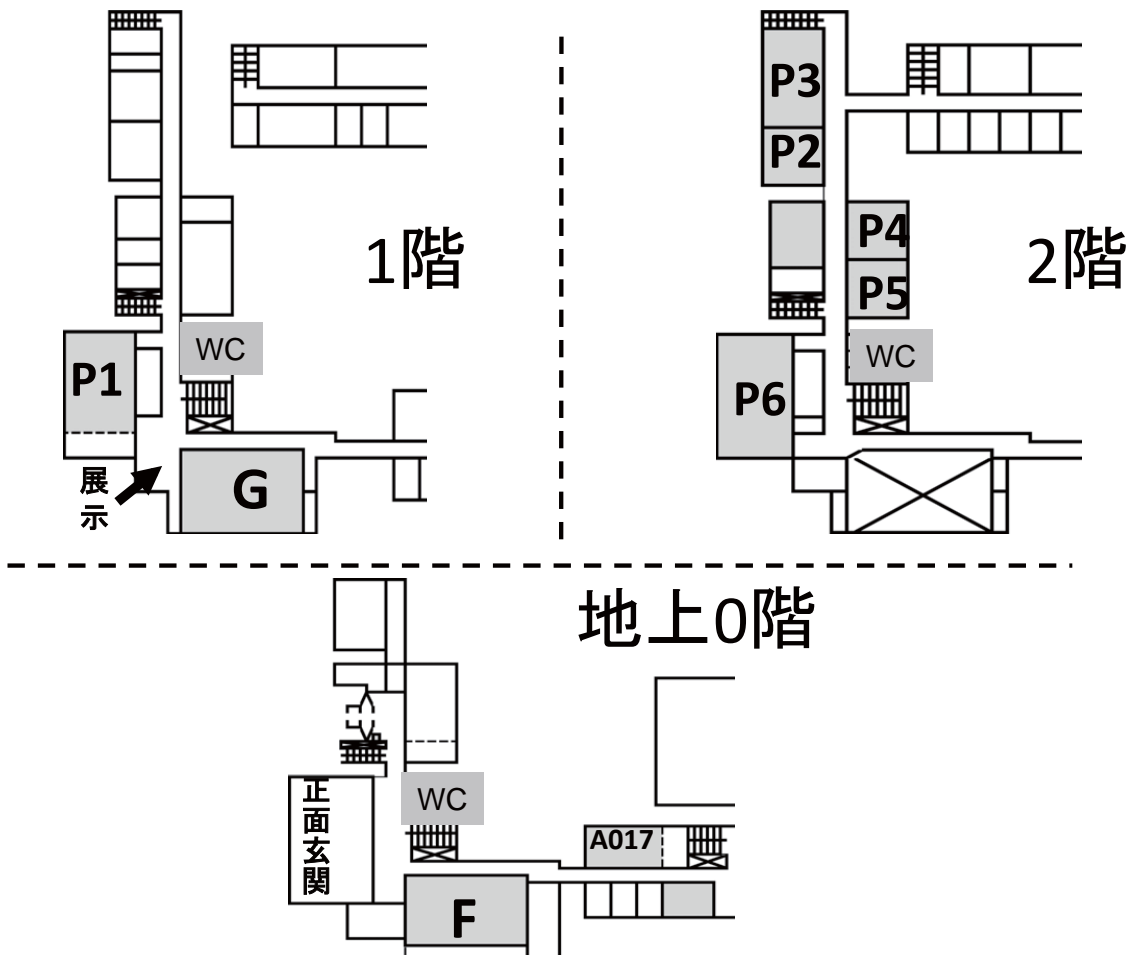


- 車で入構できます。上記以外にも駐車場があります。
- 構内は全面禁煙です。指定された場所での喫煙をお願いします。

法学部・経済学部会場



理学部会場



口頭セッション 3月24日(水)

	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場
開始時刻	【銀河核】	【恒星】	【銀河形成】	【宇宙論】	【教育・他】	【超新星爆発】	【銀河】
13:00	S01a	N01a	X01a	U01a	Y01a	K01a	R01a
13:12	S02a	N02a	X02a	U02a	Y02a	K02a	R02a
13:24	S03a	N03a	X03a	U03a	Y03a	K03a	R03a
13:36	S04a	N05a	X04a	U04a	Y04a	K04a	R04a
13:48	S05a	N06b - N08b	X05a	U05a	Y05b - Y07b	K05a	R05a
14:00	S06a	N09a	X06a	U06a	Y08b, Y09b Y13b	K06a	R06b - R08b
14:12	S07a	N10b - N12b	X07a	U07a	Y14a	K07a	R09b - R11b
14:24	S08a	N13a	X08a	U08a	Y15a	K08a	R12a
14:36	S09a	N14a	X09a	U09a	Y16a	K09a	R13a
14:48	S10a	N15a	X10a	U10b	Y17a	K10b K13b, K14b	R14a
15:00	天文教育フォーラム (E 会場)						
開始時刻	【銀河核】	【恒星/太陽系】	【銀河形成】	【宇宙論】	【教育・他】	【超新星爆発】	【銀河】
16:30	S11b - S13b	N16a	X11a	U11a	Y18a	K17a	R15a
16:42	S14a	N17a	X12b, X13b X15b	U12a	Y19a	K18a	R16a
16:54	S15a	N18a	X16a	U13a	Y20b - Y22b	K19a	R17a
17:06	S16a	N19a	X17a	U14a	Y23b, Y24b Y26b	K20a	R18a
17:18	S17a	N20a	X18a	U15a	Y27a	K21a	R19a
17:30	S18a	N21a	X19a	U16a	Y28a	K22a	R20a
17:42	S19a	N22b	X20a	U17a	Y29a	K23a	R21a
17:54	S20a	L01a	X21a	U18a	Y30a	K24a	R22a
18:06	S21b, S22b	L02a	X22b - X24b	U19a	Y31a	K25a	R23a
18:18	-	L04a	X25b	U20a	Y32a	-	R24b, R25b
18:30	-	-	-	U21b	Y33a	-	-

口頭セッション 3月25日(木)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
開始時刻	【銀河団】	【太陽系】	【銀河形成】	【高密度星】	【Fermi】	【飛翔観】	【星間現象】
09:30	T01a	L05a	X28a	J01a	A01a) A08a	W01a	Q01a
09:42	T02a	L06a	X29a	J02a		W02a	Q02a
09:54	T03a	L07a	X30a	J03a		W03b - W05b	Q03a
10:06	T04a	L08a	X31a	J04a		W09b - W11b	Q04a
10:18	T05a	L09b - L11b	X32a	J05a		W12b - W14b	Q05a
10:30	T06a	L12a	X33a	J06a		W15a	Q06b - Q08b
10:42	T07a	L13a	X34a	J07a		W16a	Q09a
10:54	T08a	L14a	X35a	J08a		W17b - W19b	Q10a
11:06	T09a	L17a	X36a	J10a		W20a	Q11a
11:18	T10a	L18a	X37a	J11b - J13b		W21a	Q12b - Q14b
11:30	T11a	-	-	J14a		W23b	-
11:42	T13b	-	-	J15b		-	-
11:30	ポスター						
12:30	昼休み						
開始時刻	【星・惑星】	【地上観】	【銀河形成】	【高密度星】	【Fermi】	【飛翔観】	【星間現象】
13:30	P01a	V01a	X38a	J16a	A09r) A16a	W24a	Q15a
13:42	P02a	V02a	X39a	J17b - J19b		W25a	Q16a
13:54	P03a	V03b - V05b	X40a	J20a		W26a	Q17a
14:06	P04a	V06a	X41a	J21a		W27a	Q18a
14:18	P05a	V07b - V09b	X42a	J22a		W28a	Q19a
14:30	P06b - P08b	V10a	-	J23a		W29b, W30b	Q20a
14:42	P09a	V11b V15b, V16b	-	J24b - J26b		W31a	Q21a
14:54	P10a	V17b - V19b	-	J27b, J28b		W32a	Q22a
15:06	P11a	V20b - V22b	-	-		W33a	Q23a
15:18	P12a	V23b, V24b	-	-		W34b, W35b	Q24b Q26b, Q27b
15:30	研究奨励賞受賞記念講演 (E会場)						
16:30	ALMA 特別セッション (E会場)						

口頭セッション 3月26日(金)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
開始時刻	【星・惑星】	【地上観】	【太陽】	【高密度星】	【TMT】	【飛翔観】	【星間現象】
09:30	P13a	V27a	M01a	J29a	B01a) B10a	W36a	Q29b - Q31b
09:42	P14a	V28a	M02a	J30a		W37a	Q34a
09:54	P15a	V29a	M03a	J31a		W38a	Q35a
10:06	P16a	V30a	M04b - M06b	J32a		W39a	Q36a
10:18	P18b - P20b	V31a	M07b - M09b	J33a		W40a	Q37a
10:30	P21a	V32a	M10a	J34b, J35b J37b		W41a	Q38a
10:42	P22a	V33a	M12b - M14b	J38a		W42a	Q39a
10:54	P23a	V34a	M15a	J39b - J41b		W43a	Q40a
11:06	P24a	V35a	M16b - M18b	J42a		W44a	Q41a
11:18	P25b - P27b	V36a	M19a	J43a		W45a	Q42a
11:30	-	V37a	-	J44b - J46b		W46a	-
11:42	-	V38b	-	-		-	-
11:30	ポスター						
12:30	昼休み						
開始時刻	【星・惑星】	【地上観】	【太陽】	【高密度星】	【TMT】	【飛翔観】	【星間現象】
13:30	P28a	V39b - V41b	M20a	J48a	B11a) B20b	W47a	Q43a
13:42	P29a	V42a	M21a	J49a		W48b - W50b	Q44a
13:54	P31a	V43b - V45b	M22a	J50a		W52a	Q45a
14:06	P32a	V46a	M23a	J51a		W53a	Q46a
14:18	P33a	V47b - V49b	M24a	J52a		W54a	Q47a
14:30	P34a	V50b V52b, V53b	M25a	J53a		W55a	Q48a
14:42	P35a	V54b, V55b V57b	M26a	J54a		W56b - W58b	Q49a
14:54	P36a	V58b - V60b	M27a	J55a		W59b	-
15:06	P37b - P39b	V61b, V62b	M28a	J56a		W60a	-
15:18	P40b - P42b	-	M29a	J57a		W61a	-
15:30	総会 (E会場)						
17:00	林忠四郎賞受賞記念講演 (E会場)						
18:00	懇親会						

口頭セッション 3月27日(土)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
開始時刻	【星・惑星】	【地上観】	【太陽】	【高密度星】	【TMT】	【飛翔観】	ジュニア セッション
09:30	P43a	V64a	M30a	J58a	B21r S B25b	W62a	
09:42	P44a	V67a	M31a	J59a		W63a	
09:54	P45a	V68a	M32a	J60a		W64b - W66b	
10:06	P46a	V69a	M33a	J61a		W67a	
10:18	P47a	V70a	M34a	J62a		W68a	
10:30	P48a	V71a	M35a	J63a		W70a	
10:42	P49a	V72a	M36a	J64a		W72a	
10:54	P50a	V73b - V75b	M37a	J65a		W73a	
11:06	P51a	V76a	M38a	J66a		W74a	
11:18	P52a	V77a	M39a	-		W75b - W77b	
11:30	-	-	M40a	-		-	
11:30	ポスター						
12:30	昼休み						
開始時刻	【星・惑星】	【地上観】				【飛翔観】	ジュニア セッション
13:30	P53a	V78a				W78a	
13:42	P54a	V79a				W79a	
13:54	P55a	V80a				W80a	
14:06	P56a	V81a				W81a	
14:18	-	V82a				W82a	
14:30	-	V85a				W83a	
14:42	-	-				W84a	
14:54	-	-				W85a	

ポスターセッション 3月24日(水) ~ 3月27日(土)

ポスター会場 1

【Fermi】(2)

A04b A15b

【TMT】(5)

B18b B19b B20b B24b B25b

【高密度星】(24)

J09c J11b J12b J13b J15b

J17b J18b J19b J24b J25b

J26b J27b J28b J34b J35b

J36c J37b J39b J40b J41b

J44b J45b J46b J47c

【超新星爆発】(7)

K10b K11c K12c K13b K14b

K15c K16c

【太陽系】(6)

L03c L09b L10b L11b L15c

L16c

【太陽】(13)

M04b M05b M06b M07b M08b

M09b M11c M12b M13b M14b

M16b M17b M18b

【恒星】(8)

N04c N06b N07b N08b N10b

N11b N12b N22b

ポスター会場 2

【星・惑星形成】(17)

P06b P07b P08b P17c P18b

P19b P20b P25b P26b P27b

P30c P37b P38b P39b P40b

P41b P42b

【星間現象】(16)

Q06b Q07b Q08b Q12b Q13b

Q14b Q24b Q25c Q26b Q27b

Q28c Q29b Q30b Q31b Q32c

Q33c

ポスター会場 3

【地上観測機器】(53)

V03b V04b V05b V07b V08b

V09b V11b V12c V13c V14c

V15b V16b V17b V18b V19b

V20b V21b V22b V23b V24b

V25c V26c V38b V39b V40b

V41b V43b V44b V45b V47b

V48b V49b V50b V51c V52b

V53b V54b V55b V56c V57b

V58b V59b V60b V61b V62b

V63c V65c V66c V73b V74b

V75b V83c V84c

ポスター会場 4

【銀河】(10)

R06b R07b R08b R09b R10b

R11b R24b R25b R26c R27c

【飛翔体観測機器】(37)

W03b W04b W05b W06c W07c

W08c W09b W10b W11b W12b

W13b W14b W17b W18b W19b

W22c W23b W29b W30b W34b

W35b W48b W49b W50b W51c

W56b W57b W58b W59b W64b

W65b W66b W69c W71c W75b

W76b W77b

ポスター会場 5

【活動銀河核】(5)

S11b S12b S13b S21b S22b

【銀河団】(4)

T12c T13b T14c T15c

【宇宙論】(5)

U10b U21b U22c U23c U24c

【銀河形成】(10)

X12b X13b X14c X15b X22b

X23b X24b X25b X26c X27c

【天文教育・他】(16)

Y05b Y06b Y07b Y08b Y09b

Y10c Y11c Y12c Y13b Y20b

Y21b Y22b Y23b Y24b Y25c

Y26b

【PDL】

【最新情報コーナー】

ポスター会場 6

【ジュニアセッション】

A. Fermi

3月25日(木) 午前・E会場		3月25日(木) 午後・D会場	
09:30	A01a EGRET から Fermi へ - 理論的課題・26分 高原文郎 (大阪大学)	13:30	A09r 広島大学かなた望遠鏡とフェルミ衛星によるブレーザーの共同研究・20分 植村 誠 (広島大学)
09:56	A02a フェルミ衛星が見たパルサーとパルサー風星雲・22分 中森健之 (東京工業大学)	13:50	A10a TeV で観測された銀河団に対する GeV ガンマ線放射の探索・12分 森 正樹 (立命館大学)
10:18	A03a グローバル磁気圏の粒子シミュレーションとフェルミ時代のパルサー磁気圏モデルの方向性について・12分 柴田晋平 (山形大学)	14:02	A11a Normal Galaxies Contribution to Extragalactic Gamma-ray Background・12分 真喜屋龍 (京都大学)
10:30	A04b 粒子シミュレーションによる、パルサー磁気圏での磁気中性面形成と高エネルギー放射に関する研究・4分 海崎光宏 (山形大学)	14:14	A12a フェルミ衛星が捉えたガンマ線バーストからの高エネルギー放射・17分 大野雅功 (宇宙航空研究開発機構)
10:34	A05a Fermi-LAT パルサー方向のチベット空気シャワー観測装置による TeV ガンマ線サーベイ・12分 川田和正 (東京大学)	14:31	A13a フェルミが観測したガンマ線バーストの物理・17分 浅野勝晃 (東京工業大学)
10:46	A06a ガンマ線連星における TeV、GeV ガンマ線、X 線の周期変動メカニズム・12分 山口正輝 (大阪大学)	14:48	A14a TeV ガンマ線観測とフェルミとの関連・20分 手嶋政廣 (マックスプランク物理学研究所)
10:58	A07r 「なんてん」による分子雲観測と Fermi ガンマ線源・20分 福井康雄 (名古屋大学)	15:08	A15b フェルミの先へ : CTA Japan の活動報告・4分 戸谷友則 (京都大学)
11:18	A08a 分子雲からの γ 線で探る超新星残骸での宇宙線加速・12分 藤田 裕 (大阪大学)	15:12	A16a X線全天監視装置 MAXI とフェルミによる全天多波長モニター・20分 河合誠之 (東京工業大学)

B. TMT

3月26日(金) 午前・E会場			
09:30	B01a TMT 計画の概要・20分 家 正則 (国立天文台)	14:15	B14a TMT で拓かれるキューサー吸収線研究の 新時代・15分 三澤 透 (理化学研究所)
09:50	B02r Taiwan's plan and science perspective to join TMT・15分 Wing-Huen Ip (National Central University)	14:30	B15a HSC サーベイで発見される重力レンズ 銀河カタログとTMT・15分 高田昌広 (数物連携宇宙研究機構)
10:05	B03r China's plan and science perspective to join TMT・15分 Shude Mao (National Astronomical Observatory, China)	14:45	B16a TMT で探る銀河形成・銀河進化・15分 柏川伸成 (国立天文台)
10:20	B04a TMT セグメント鏡の製作プラン・15分 山下卓也 (国立天文台)	15:00	B17a TMT 時代のガンマ線バースト観測で 切り拓く超遠方宇宙・15分 井上 進 (京都大学)
10:35	B05a 30メートル望遠鏡における地球型系 外惑星の直接検出・15分 松尾太郎 (国立天文台)	15:15	B18b TMT と協力して赤方偏移 20 のガンマ 線バーストを観測する衛星概念・4分 米徳大輔 (金沢大学)
10:50	B06a TMT 可視高分散分光器と初期宇宙の 元素合成・銀河系形成・15分 青木和光 (国立天文台)	15:19	B19b TMT + 多波長サーベイ宇宙論計画で 切り開く初代星までの距離測定・4分 筒井 亮 (京都大学)
11:05	B07a TMT30m 望遠鏡用近赤外高分散分光 器・10分 小林尚人 (東京大学)	15:23	B20b WISH as a unique sample provider for TMT・4分 岩田 生 (国立天文台)
11:15	B08a TMT 中間赤外線装置観測検討・10分 尾中 敬 (東京大学)	3月27日(土) 午前・E会場	
11:25	B09a 30m 望遠鏡の超広視野 AO 多天体分 光器の提案 II・10分 秋山正幸 (東北大学)	09:30	B21r 精密宇宙論から超精密宇宙論へ： TMT へ期待する・15分 相原博昭 (東京大学)
11:35	B10a TMT 第一期観測装置 IRIS の開発・10分 白田知史 (国立天文台)	09:45	B22a ALMA と TMT との連携：星形成・原 始惑星系円盤を例に・15分 百瀬宗武 (茨城大学)
3月26日(金) 午後・E会場		10:00	B23a TMT で拓く新しい天文学 ～物質循環 のサイエンスに関する SPICA と TMT のシナジー・15分 左近 樹 (東京大学)
13:30	B11a TMT で期待される太陽系・惑星科学・ 15分 渡部潤一 (国立天文台)	10:15	B24b TMT と光赤外線干渉計：超高角分解能・ コントラスト観測によるサイエンス・4分 小谷隆行 (宇宙航空研究開発機構)
13:45	B12r TMT で観る太陽系外惑星の大気・15分 成田憲保 (国立天文台)	10:19	B25b エッチングによる TMT 主鏡ガラス材の サブサーフェスダメージ層除去・4分 秋田谷 洋 (国立天文台)
14:00	B13r TMT 時代の超新星観測・15分 前田啓一 (東京大学)		

J. 高密度星

3月25日(木) 午前・D会場		3月25日(木) 午後・D会場	
09:30	J01a 熱伝導・粘性を考慮した相対論的流体-Israel-Stewart 理論の numerical scheme 高本 亮 (京都大学)	11:30	J14a 磁気流体不安定性を考慮した降着円盤モデル 高橋博之 (国立天文台)
09:42	J02a ブラックホール磁気降着流における等温衝撃波形成 高橋真聡 (愛知教育大学)	11:42	J15b 近似リーマン解法を用いた相対論的抵抗性磁気流体方程式の解法 高橋博之 (国立天文台)
09:54	J03a 鉛直方向に振動する二本腕捕獲振動と QPOs 加藤正二 (京大 OB)	3月25日(木) 午後・D会場	
10:06	J04a Excitation of Trapped Oscillations in Accretion Disks Around Black Holes III Finny Oktariani (Hokkaido Univ)	13:30	J16a レーザー宇宙物理：高出力レーザーを用いた X 線天文実験 藤岡慎介 (大阪大学)
10:18	J05a 相対論的輻射輸送方程式の解析解 福江 純 (大阪教育大学)	13:42	J17b 超高光度 X 線点源の長期スペクトル変動の統計的調査 吉田鉄生 (宇宙航空研究開発機構 / 東京理科大学)
10:30	J06a 相対論的ブラックホール風の観測的特徴 飯野瑛里子 (大阪教育大学)	13:42	J18b すざく衛星による 1E1740.7 - 2942 の観測 東 慶一 (立教大学)
10:42	J07a 光学的に薄いブラックホール流の観測的特徴 斉藤秀樹 (大阪教育大学)	13:42	J19b 「すばる」による SS433 伴星スペクトルの観測とコンパクト星の同定：2 久保田香織 (京都大学)
10:54	J08a 相対論磁気リコネクションの2流体シミュレーション (2) 銭谷誠司 (NASA/GSFC)	13:54	J20a 全天 X 線監視装置 MAXI の突発天体発見及び速報システムの成果 三好 翔 (日本大学)
	J09c Scaling of the Anomalous Boost in Relativistic Jet Boundary Layer 銭谷誠司 (NASA/GSFC)	14:06	J21a 国際宇宙ステーション搭載 MAXI によるブラックホール候補天体の観測 根来 均 (日本大学)
11:06	J10a 降着円盤磁気流体シミュレータの開発 (6)：モジュールの追加 松元亮治 (千葉大学)	14:18	J22a MAXI による LMC・SMC 領域にある変動天体の観測 森井幹雄 (東京工業大学)
11:18	J11b 降着円盤磁気流体シミュレータの開発 (7)：円盤磁場の時間発展 小川崇之 (千葉大学)	14:30	J23a 全天 X 線監視装置 MAXI によるガンマ線バースト / X 線フラッシュの観測結果 中平聡志 (青山学院大学)
11:18	J12b 磁場によって収束された輻射圧加速ジェット 竹内 駿 (京都大学)	14:42	J24b 全天 X 線監視装置 MAXI と RXTE 衛星によるブラックホール新星 XTE J1752-223 の観測 中平聡志 (青山学院大学)
11:18	J13b 降着円盤の輻射磁気流体力学モデル；円盤およびアウトフローの力学構造 大須賀健 (国立天文台)		

14:42	J25b	MAXI/GSC で観測した Be 型連星 X 線パルサーの X 線強度変動 中島基樹 (日本大学)	J36c	SU UMa 型矮新星 PU Canis Majoris の 2009 年 superoutburst 期における CCD 測光観測 赤澤秀彦 (倉敷市立川辺小学校)	
14:42	J26b	全天 X 線監視装置 MAXI による X 線連星パルサー Cen X-3 の巨大フレアの観測 山本堂之 (日本大学/理化学研究所)	10:30	J37b	X 線衛星すざくによる矮新星 Z Cam のアウトバースト直前観測 齊藤 慧 (東京大学/宇宙航空研究開発機構)
14:54	J27b	全天 X 線監視装置 MAXI/GSC による星の観測 山崎恭平 (中央大学)	10:42	J38a	「すざく」、H.E.S.S.、可視光による白色矮星パルサーの多波長同時観測 寺田幸功 (埼玉大学)
14:54	J28b	GRB 091208B の初期可視残光の偏光アッパーリミット 川端弘治 (広島大学)	10:54	J39b	すざく衛星による古典新星 V2672 Ophiuchi の即応観測 武井 大 (立教大学)
3月26日(金) 午前・D会場					
09:30	J29a	古典新星 V1280 Sco の 2007-2009 年の観測結果 内藤博之 (名古屋大学)	10:54	J40b	磁場の変形を考慮した粒子シミュレーションによるパルサー磁気圏におけるデッドゾーンの構造 結城伸哉 (山形大学)
09:42	J30a	非常に速い新星 V2672 Oph の可視光短時間変動の測光観測 前原裕之 (京都大学)	10:54	J41b	かに星雲のダイナミクスにおける圧力の非等方性効果の研究 大澤 健 (山形大学)
09:54	J31a	M31 に現れた明るい新星 2009-10b の早期観測 山中雅之 (広島大学)	11:06	J42a	高速回転中性子星の準動径固有振動 高見健太郎 (広島大学)
10:06	J32a	古典新星 KT Eridani の可視分光及び測光観測 今村和義 (岡山理科大学)	11:18	J43a	中性子星磁気圏の三次元粒子シミュレーション 和田智秀 (国立天文台)
10:18	J33a	強磁場白色矮星を持つ系 OT J071126.0+440405 の降着モデルについて 大島誠人 (京都大学)	11:30	J44b	New Radio Transinet WJN J2246+4153 at $41^\circ \leq \delta \leq 42^\circ$ 今井章人 (早稲田大学)
10:30	J34b	早期ダスト形成を起こした新星 V5579 Sgr の可視赤外線観測 新井 彰 (京都産業大学)	11:30	J45b	フェルミ衛星で検出されたガンマ線パルサーの系統的研究 金井義和 (東京工業大学)
10:30	J35b	ヘリウム矮新星 CR Boo の可視光-近赤外線同時観測 植村 誠 (広島大学)	11:30	J46b	「すざく」による銀河面上の未同定フェルミ・ガンマ線天体の観測 中森健之 (東京工業大学)
				J47c	クォーク・ハドロン混合相を考慮した高密度星の冷却曲線 野田常雄 (九州大学)

3月26日(金) 午後・D会場		3月27日(土) 午前・D会場	
13:30	J48a ブラックホール放射ゆらぎのセルオートマトンモデル：パラメータ依存性 眞榮田義臣（京都大学）	09:30	J58a A LARGE EXTINCTION FOR A “DARK” GRB 080325 IN A DUSTY MASSIVE GALAXY 橋本哲也（京都大学）
13:42	J49a 「すざく」データを用いた降着円盤からの熱的放射モデルの検証 山田真也（東京大学）	09:42	J59a X線天文衛星「すざく」搭載WAM検出器によるFRED型光度変動のエネルギー依存性の観測 恩田香織（埼玉大学）
13:54	J50a 相対論的降着円盤スペクトルからのブラックホールスピンの推定 利川潤（京都大学）	09:54	J60a Fermiによる明るいlong GRB 090926Aの観測 上原岳士（広島大学）
14:06	J51a X-ray Spectral Variability in the Ultraluminous X-ray Source Holmberg IX X-1 Kiki Vierdayanti (Kyoto Univ.)	10:06	J61a 「すざく」衛星搭載WAM検出器によるGRB090709Aの周期解析 岩切渉（埼玉大学）
14:18	J52a 最大力学質量ブラックホール候補天体IC 10 X-1周辺のガスの探査 馬場亮輔（東京理科大学）	10:18	J62a GRB GeV 遅延の火の玉再加熱モデル 井岡邦仁（KEK）
14:30	J53a 超強内部磁場を伴う中性子星の構造 藤澤幸太郎（東京大学）	10:30	J63a コラプサー起源のガンマ線バーストジェットからの熱的放射 水田晃（千葉大学）
14:42	J54a 「すざく」の観測によるマグネター硬X線放射の起源の探究 榎戸輝揚（東京大学）	10:42	J64a ガンマ線バースト・ジェットからの重力波 秋葉昭太（日本大学）
14:54	J55a 「すざく」衛星によるSGR 0501+4516のバーストに付随する硬X線放射の検出 中川友進（理化学研究所）	10:54	J65a Luminosity Distribution of GRB Host Galaxies in Cosmological Hydrodynamic Simulation 新納悠（京都大学）
15:06	J56a 宇宙線電子・陽電子の天体起源説に基づくFermi LAT電子・陽電子スペクトルの理論的解釈—果たして宇宙線陽電子源はパルサーなのか？ 川中宣太（高エネルギー加速器研究機構）	11:06	J66a MITSuME望遠鏡によるガンマ線バーストの観測 中嶋英也（東京工業大学）
15:18	J57a X線を用いたガンマ線連星LS 5039の詳細解析 岸下徹一（宇宙航空研究開発機構）		

K. 超新星爆発

3月24日(水) 午後1・F会場		3月24日(水) 午後2・F会場	
13:00	K01a 3次元磁気流体計算による15太陽質量星の重力崩壊 黒田仰生(東京大学)	14:48	K14b Ib型超新星 SN 2009jf の可視光測光分光観測 山中雅之(広島大学)
13:12	K02a Three dimensional simulation of magnetorotational collapse with neutrino transfer 滝脇知也(国立天文台)		K15c Swifts GRB : outlier of the $E_{\text{peak}}^{\text{src}} - E_{\gamma}$ and $E_{\text{iso}} - E_{\text{peak}}^{\text{src}} - t_{\text{jet}}^{\text{src}}$ correlations 浦田裕次(国立中央大学)
13:24	K03a 現実的状态方程式を考慮した3次元MHD計算による重力崩壊型超新星のジェット形成 三上隼人(千葉大学)		K16c 超新星残骸 Cassiopeia A における物質混合と流体不安定性 松尾康秀(九州大学)
13:36	K04a 重力崩壊型超新星の shock breakout での bulk comptonization の影響 鈴木昭宏(東京大学)		
13:48	K05a SN 2007bi は本当に pair-instability supernova か 守屋 堯(東京大学)	16:30	K17a 超新星背景ニュートリノ(SRN) 検出率予測におけるフレーバーごとのニュートリノ温度依存性および星形成率依存性の検討 鈴木重太郎(総研大/国立天文台)
14:00	K06a 高速回転する白色矮星における Ia 型超新星爆発 増田恵勇(東京大学)	16:42	K18a 発生頻度と母銀河の相関から探る Ia 型超新星の母天体 奥村 純(京都大学)
14:12	K07a 電子捕獲型超新星爆発とかに星雲を作った超新星 1054 富永 望(甲南大学)	16:54	K19a 「すざく」による超新星残骸 G359.1-0.5 からの放射性再結合連続 X 線の発見 大西隆雄(京都大学)
14:24	K08a 可視・赤外後期スペクトルで探る Ia 型超新星の爆発構造 前田啓一(東京大学)	17:06	K20a X線天文衛星「すざく」による超新星残骸 Vela のイジェクタ破片からの非熱的X線の発見 吉井理恵(理化学研究所/東京理科大学)
14:36	K09a SDSS-II 中赤方偏移 Ia 型超新星の測光的性質 高梨直紘(東京大学)	17:18	K21a 超新星残骸 W49B からの異常に強い鉄の再結合構造の発見とその空間分布 小澤 碧(京都大学)
14:48	K10b Ia 型超新星 SN 2009dc の多色光度曲線の理論モデル: チャンドラセカール質量より重い白色矮星の核爆発 神谷保臣(東京大学)	17:30	K22a 超新星残骸白鳥座ループからの Ar-K 輝線の発見 内田裕之(大阪大学)
	K11c 原子核パスタの新構造 中里健一郎(京都大学)	17:42	K23a 超新星残骸白鳥座ループ南東のリムにおけるアバンダンス非一様について 小杉寛子(大阪大学)
	K12c 定在降着衝撃波不安定性により誘発された重力崩壊型超新星爆発における爆発的要素合成 2-p 過程核合成 藤本信一郎(熊本高専)	17:54	K24a あかり IRC による NGC 300 Optical Transient の継続観測 大澤 亮(東京大学)
14:48	K13b Ia 型および II 型超新星発生率の比較と超新星爆発モデルの制限 井原 隆(東京大学)	18:06	K25a Cassiopeia A 超新星残骸中のダストの一生 野沢貴也(東京大学)

L. 太陽系

3月24日(水) 午後2・B会場			
17:54	L01a あかりによる微惑星候補天体の近・中間赤外線観測 関口朋彦(北海道教育大学)	10:18	L11b 超高感度 ISO12800 デジタル一眼レフカメラによる永続流星痕の観測ー 2009年度の成果ー 比嘉義裕(日本流星研究会)
18:06	L02a 「あかり」衛星による黄道光放射の中間赤外線スペクトル II 大坪貴文(宇宙航空研究開発機構)	10:30	L12a 太陽系小天体用小型分光システム計画 奥村真一郎(日本スペースガード協会)
	L03c CIBER/LRS による近赤外線での黄道光の分光観測 津村耕司(東京大学/宇宙航空研究開発機構)	10:42	L13a 波面補償光学装置による小惑星の衛星探査 二次処理による詳細解析 布施哲治(国立天文台)
18:18	L04a 宇宙塵の3次元形状 - 地球大気との摩擦による溶融ダスト粒子の変形 - 土居政雄(東京工業大学)	10:54	L14a 新しい小惑星高速検出アルゴリズムの構築 坂本 強(日本スペースガード協会)
			L15c Suprime-Cam を用いた太陽系小天体のスリットレス分光 八木雅文(国立天文台)
			L16c 1.8mMOA2 望遠鏡を用いた太陽系内小惑星の探索 中尾俊作(甲南大学)
		11:06	L17a オリオン座流星群の予報研究と観測結果に関する考察 佐藤幹哉(国立天文台)
		11:18	L18a 「天の岩戸」日食候補について 谷川清隆(国立天文台)
3月25日(木) 午前・B会場			
09:30	L05a 「かぐや」重力・地形観測による月の内部構造 佐々木 晶(国立天文台)		
09:42	L06a 宇宙測地学的手法による火星回転変動計測 原田雄司(国立天文台)		
09:54	L07a イオ火山活動の中間赤外線地上監視観測 米田瑞生(東北大学)		
10:06	L08a 小惑星探査ミッション「はやぶさ2」について 吉川 真(宇宙航空研究開発機構)		
10:18	L09b かぐや LALT データによる月縁地形データの構築および接食観測との比較 相馬 充(国立天文台)		
10:18	L10b 串田彗星(144P) および鹿林彗星(C/2007 N3)の偏光撮像観測 古荘玲子(国立天文台)		

M. 太陽

3月26日(金) 午前・C会場	
09:30	M01a MHD乱流の温度風平衡への影響 政田洋平 (国立天文台)
09:42	M02a 磁束輸送ダイナモモデルにもとづいた太陽磁場の南北対称性の研究 堀田英之 (東京大学)
09:54	M03a 太陽対流層からの2段階磁束浮上とその物理 鳥海 森 (東京大学)
10:06	M04b 「ひので」でみた南北極域磁場3年の変動 伊藤大晃 (名古屋大学)
10:06	M05b 乗鞍コロナ観測所 25cm コロナグラフで観測された光球と彩層偏光観測 大井瑛仁 (茨城大学)
10:06	M06b フィルターマグネトグラム (ひので / SOT、2分間隔) の速度場解析 山本哲也 (名古屋大学)
10:18	M07b ひので磁場観測に基づく極域磁場の三次元構造: 成層大気中の非一様磁場における Alfvén 波伝搬についての考察 塩田大幸 (名古屋大学)
10:18	M08b β γ δ 型黒点のフレア・プロダクティビティ 滝澤 寛 (京都大学)
10:18	M09b UHF 帯太陽 Type-IV 電波バーストのスペクトル微細構造の観測研究 II 西村由紀夫 (東北大学)
10:30	M10a 東北大学におけるメートル波太陽電波観測装置の開発とその科学目標 岩井一正 (東北大学)
	M11c EUV 輝線分光による磁気リコネクション領域近傍の速度場観測 原 弘久 (国立天文台)
10:42	M12b 太陽フレア粒子加速におけるピッチ角散乱の影響 簗島 敬 (名古屋大学)
10:42	M13b 第一期 GEMSIS-Sun プロジェクトの報告 増田 智 (名古屋大学)
10:42	M14b 2009年7月22日皆既日食時の太陽コロナ 末松芳法 (国立天文台)
10:54	M15a 100年に一度?の極小における白色光コロナ: 2009年7月の皆既日食での高 S/N 撮像からの結果 花岡庸一郎 (国立天文台)
11:06	M16b 太陽風構造の惑星間空間衝撃波伝播への影響 小川智也 (北里大学)
11:06	M17b IPS 観測とのデータ同化による太陽風モデルの開発 西田圭佑 (京都大学)
11:06	M18b 太陽圏内電荷交換反応の時間変動解明に対する観測的アプローチ 吉武 宏 (宇宙航空研究開発機構)
11:18	M19a SOLAR-C 搭載大口径光学望遠鏡による太陽彩層の高精度磁場診断 勝川行雄 (国立天文台)

3月26日(金)午後・C会場		3月27日(土)午前・C会場	
13:30	M20a 部分的磁気再結合 (component reconnection) について 柴崎清登 (国立天文台)	09:30	M30a H α wing で見た彩層の温度構造 上田航平 (国立天文台 / 東京大学)
13:42	M21a 半暗部ジェットと弱電離磁気リコネクション 磯部洋明 (京都大学)	09:42	M31a 飛驒 - ひので共同観測分光データを用いた Ca II アネモネジェットの研究 3: 定量解析、形態学的解析のまとめと、得られた経験的モデル 森田 諭 (京都大学)
13:54	M22a 3D MHD simulations of penumbral jet Rong Lin Jiang (Kyoto Univ.)	09:54	M32a ひので極端紫外線望遠鏡によるジェット・プラズマ流の高時間分光観測 西塚直人 (京都大学)
14:06	M23a 黒点半暗部微細構造の形成とエバーシェッド流の時間的な対応関係 久保雅仁 (High Altitude Observatory)	10:06	M33a Tearing instability in the Kippenhahn-Schlueter Prominence model Andrew Hillier (京都大学)
14:18	M24a 短寿命水平磁場の空間分布の非一様性 石川遼子 (東京大学 / 国立天文台)	10:18	M34a 大規模シミュレーションによるフレア - コロナ質量放出モデリング研究 塩田大幸 (名古屋大学)
14:30	M25a Is Hinode witnessing the “turbulent” fields traced by the Hanle effect? David Orozco-Suárez (国立天文台)	10:30	M35a 軟 X 線で見える静穏領域における突発的エネルギー解放現象の発生頻度 II 羽田裕子 (日本大学)
14:42	M26a MHD 波動の center-to-limb variation とモードの同定 藤村大介 (国立天文台 / 東京大学)	10:42	M36a 2006 年 12 月 13 日に起きた巨大フレアのプリフレア相におけるエネルギー解放 浅井 歩 (国立天文台)
14:54	M27a ひので EIS で観測した活動領域における MHD 波動のモードと位相 北川直優 (東京大学)	10:54	M37a 非線形フォース・フリー磁場モデルを利用した数値実験に基づくフレア発生機構の研究 II 草野完也 (名古屋大学)
15:06	M28a Swedish Solar Telescope / TRIPPEL を用いた高速視線速度成分の検出 渡邊皓子 (京都大学)	11:06	M38a 太陽コロナ中の電離非平衡プラズマ 今田晋亮 (宇宙航空研究開発機構)
15:18	M29a リム・スピキュールの時間変化を追ったプロフィール解析 小路真木子 (京都経済短期大学)	11:18	M39a 「すざく」衛星搭載 WAM 検出器による太陽フレアに伴う硬 X 線の系統的解析 遠藤 輝 (埼玉大学)
		11:30	M40a RHESSI 衛星による巨大太陽フレアからの相対論的高エネルギー電子の硬 X 線イメージング 石川真之介 (宇宙航空研究開発機構)

N. 恒星

3月24日(水) 午後1・B会場		3月24日(水) 午後2・B会場	
13:00	N01a M型矮星に対する3周波電波観測 小池一隆(総合研究大学院大学)	14:24	N13a エータカリーナと位置が一致する場所に発見されたガンマ線天体のフェルミ衛星による解析(2) 高橋弘充(広島大学)
13:12	N02a 「あかり」による褐色矮星の近赤外線分光観測IV. UCMによる解析 空華智子(東京大学)	14:36	N14a 大質量星の進化における質量放出とその化学組成 吉田 敬(東京大学)
13:24	N03a スピッツァー宇宙望遠鏡による球状星団に存在する質量放出星の分光観測 松永典之(東京大学)	14:48	N15a Ib/c型超新星爆発におけるニュートリノ過程と軽元素合成 中村 航(国立天文台)
	N04c 近赤外線モニター観測したAGB星の銀河系空間分布 宮ノ下 亮(鹿児島大学)		
13:36	N05a 惑星状星雲K3-35に付随する水メーザー源の年周視差計測 今井 裕(鹿児島大学)	16:30	N16a 超金属欠乏星BD +44 493 ([Fe/H] = -3.7) のベリリウム組成 伊藤紘子(総合研究大学院大学)
13:48	N06b VERAとVLBAによるミラ型変光星周期光度関係の解明とその利用 中川亜紀治(鹿児島大学)	16:42	N17a 超金属欠乏星でのフッ素過多の起源(II) 西村高徳(国立天文台)
13:48	N07b 特異な食連星ぎよしゃ座イプシロンの食開始期におけるスペクトル変化 定金晃三(大阪教育大学)	16:54	N18a 明るい巨星でのトリウムの検出と宇宙年代学への適用II 本田敏志(ぐんま天文台)
13:48	N08b 「あかり」で探るdustyな炭素星の赤外スペクトルの時間変動 下西 隆(東京大学)	17:06	N19a 恒星非動径振動の固有モードの分類方法について 高田将郎(東京大学)
14:00	N09a あかり衛星による炭素星U HyaとX TrAのダストシェル構造の探査 泉浦秀行(国立天文台)	17:18	N20a 強磁場をもつ星の脈動の理論 常富直之(東京大学)
14:12	N10b 赤外線天文衛星「あかり」の観測に基づく新星V1280Sco周囲でのダスト形成 左近 樹(東京大学)	17:30	N21a 重元素のない、或は僅かな、小質量星の ϵ -メカニズムによる振動不安定性 園井崇文(東京大学)
14:12	N11b Wolf-Rayet連星系 θ MuscaeのX線放射領域II 菅原泰晴(中央大学)	17:42	N22b Caustic Crossing Event時の増光に対する近似とその精度について 米原厚憲(京都産業大学)
14:12	N12b Cyg OB2 #8aの解析による星風衝突モデルの検証 吉田正樹(立教大学)		

P. 星・惑星形成

3月25日(木) 午後・A会場		3月26日(金) 午前・A会場	
13:30	P01a 「あかり」遠赤外線全天サーベイカタログの公開 山村一誠(宇宙航空研究開発機構)	09:30	P13a Collect and Collapse モデルにおける高密度シェルの分裂過程 岩崎一成(大阪大学)
13:42	P02a 「あかり」中間赤外線全天サーベイカタログの公開 石原大助(名古屋大学)	09:42	P14a 星団形成クランプにおける星形成過程: 潮汐力と外圧の重要性について 中村文隆(新潟大学)
13:54	P03a VERAによる大質量星形成領域 MSXDC G034.43+00.24 の年周視差測定 倉山智春(鹿児島大学)	09:54	P15a 磁場が卓越した分子雲におけるコア形成のタイムスケール 工藤哲洋(国立天文台)
14:06	P04a VERAによる超コンパクト HII 領域 W28A2 の距離決定と物理量の修正 元木業人(北海道大学)	10:06	P16a 星形成領域 L1551 における低密度コア質量関数(CMF)の再評価 建井秀史(東京工業大学)
14:18	P05a VERAによるクラス0天体 L1448C の年周視差計測 廣田朋也(国立天文台)		P17c 巨大分子雲 CygOB7 に埋もれた大質量分子雲コアの観測的研究 大橋健次郎(東京学芸大学)
14:30	P06b 「あかり」全天サーベイのカタログ・アーカイブ・サーバ(AKARI-CAS)公開 山内千里(宇宙航空研究開発機構)	10:18	P18b 数値流体計算と電波観測の比較による RDI モデルの検証 本山一隆(国立天文台)
14:30	P07b 野辺山ミリ波干渉計による BRC12W の観測 福田尚也(岡山理科大学)	10:18	P19b クランプ同士の相互作用による大質量星形成の証拠 樋口あや(東京工業大学/国立天文台)
14:30	P08b フィラメント状分子雲に付随する前主系列星の探査 武田将雄(神戸大学)	10:18	P20b 星形成の数値計算における熱力学: 輻射流体計算とバロトロピック近似 富田賢吾(総合研究大学院大学/国立天文台)
14:42	P09a AKARI 衛星による星形成領域の赤外深撮像観測: 2 佐藤八重子(総合研究大学院大学)	10:30	P21a 原始星アウトフローと星形成率の関係 町田正博(国立天文台)
14:54	P10a Monoceros R2 赤外反射星雲における近赤外偏光天体 日下部展彦(国立天文台)	10:42	P22a ゼーマン効果に現れる YSO ジェットの磁場構造 釜谷秀幸(防衛大学校)
15:06	P11a Cep A 駆動領域からの X 線 坪井陽子(中央大学)	10:54	P23a ガスコラプスの非等方性と化学反応の不定性を考慮した popIII 星形成 佐々木 明(東京大学)
15:18	P12a 大質量星形成領域 G10.6-0.4 の massive toroid に付随する原始星団 山下一芳(総合研究大学院大学)	11:06	P24a 低金属度原始星の進化と周囲へのフィードバック 大向一行(国立天文台)

11:18	P25b	原始星から噴出するアウトフローの観測 中岡正奈 (神戸大学)	14:54	P36a	ダスト衝突帯電を考慮した原始惑星系円盤のグローバルシミュレーション 村主崇行 (京都大学)
11:18	P26b	低金属量環境での星質量決定過程を調べるための計算コードの開発 細川隆史 (国立天文台 / JPL)	15:06	P37b	TW Hya に付随する原始惑星系円盤の近赤外偏光撮像データの解析 下浦美那 (大阪大学)
11:18	P27b	HD 163296 の原始惑星系円盤による散乱光の時間変動 深川美里 (大阪大学)	15:06	P38b	乱流中の微惑星形成の N 体シミュレーション 道越秀吾 (国立天文台)
3月26日(金) 午後・A会場					
13:30	P28a	First Systematic NIR Polarization Survey of Young Brown Dwarfs 橋本 淳 (総合研究大学院大学)	15:06	P39b	反射光による地球型系外惑星の特徴付け 藤井友香 (東京大学)
13:42	P29a	「あかり」による低質量 YSO 周囲の星間氷観測 相川祐理 (神戸大学)	15:18	P40b	SEEDS による散開星団の系外惑星探査 山本広大 (大阪大学)
	P30c	WFGS2 による大規模 T タウリ型星探査 - IC1396 - 仲野 誠 (大分大学)	15:18	P41b	小口径望遠鏡を用いた、系外惑星のトランジット周期ずれ検出による未知系外惑星の探索 真鍋 翔 (東北大学)
13:54	P31a	原始惑星系円盤の熱力学構造 廣瀬重信 (海洋研究開発機構)	15:18	P42b	系外惑星 HAT-P-2 のトランジット測光観測におけるサブミリ等級精度の実現 大島 修 (岡山県立水島工業高等学校)
14:06	P32a	CEPD - Chemical Evolution of Protoplanetary Disks Dominikus Heinzeller (京都大学)			
14:18	P33a	架橋した双子の原始惑星系円盤の直接撮像及びその 2D シミュレーション 眞山 聡 (総合研究大学院大学)			
14:30	P34a	低金属量下における原始惑星系円盤の寿命 ~円盤散逸メカニズムと「惑星-金属量関係」への効果~ 安井千香子 (東京大学)			
14:42	P35a	近傍の大質量星による原始惑星系円盤ガスの光蒸発散逸計算 2 田村隆哉 (京都大学)			

3月27日(土) 午前・A会場		3月27日(土) 午後・A会場	
09:30	P43a 惑星形成のハイブリッド・シナリオ 犬塚修一郎 (名古屋大学)	13:30	P53a Cold Neptunes Are Common 住 貴宏 (名古屋大学)
09:42	P44a 暴走成長過程に対する初期微惑星質量の影響 押野翔一 (総合研究大学院大学)	13:42	P54a 最少質量比惑星イベント候補 MOA-2009-BLG-266 の解析 古澤 圭 (名古屋大学)
09:54	P45a 原始惑星系円盤におけるギャップ生成 武藤恭之 (京都大学)	13:54	P55a 惑星マイクロレンズイベント : MOA-2009-BLG-319 三宅範幸 (名古屋大学)
10:06	P46a 衝突破片による地球型惑星の円軌道化 小久保英一郎 (国立天文台)	14:06	P56a ニュージーランド 61cm 望遠鏡を用いた Transit Timing Variations (TTVs) の観測 福井暁彦 (名古屋大学)
10:18	P47a レーザー衝撃圧縮実験を用いた巨大ガス惑星内部構造の研究 佐野孝好 (大阪大学)		
10:30	P48a ベイズ統計を用いた星の自転軸と惑星公転軸のなす角度の3次元再構築 平野照幸 (東京大学)		
10:42	P49a Discovery of Exoplanet Candidates Orbiting a Sun-Like Star: Inaugural Observations with Subaru's New Instrument HiCIAO 田村元秀 (国立天文台)		
10:54	P50a SEEDS プロジェクトでの系外惑星・円盤探査の現状 神鳥 亮 (国立天文台)		
11:06	P51a SEEDS 惑星探査データの統計的評価方法 葛原昌幸 (東京大学)		
11:18	P52a G型巨星における惑星系の日韓共同探査.VI 大宮正士 (東海大学)		

Q. 星間現象

3月25日(木) 午前・G会場		3月25日(木) 午後・G会場	
09:30	Q01a 銀河系中心電波アーク-偏波プルーム:強い電波放射の起源 坪井昌人(宇宙航空研究開発機構)	11:18	Q13b シンクロトロンX線の観測による超新星残骸での宇宙線加速の進化の解明 中村良子(宇宙航空研究開発機構/東京工業大学)
09:42	Q02a 銀河中心領域におけるアンモニア輝線サーベイII 宮崎敦史(国立天文台)	11:18	Q14b TeVガンマ線未同定天体 HESS J1741-302からのX線放射の発見 松本浩典(名古屋大学)
09:54	Q03a すざく衛星によるSgr B2分子雲からのX線放射の時間変動の観測 信川正順(京都大学)	3月25日(木) 午後・G会場	
10:06	Q04a すざく衛星によるTornado nebula (G357.7-0.1)のX線観測 澤田真理(京都大学)	13:30	Q15a 加速領域の宇宙線スペクトルとそこから逃げた宇宙線のスペクトルの関係 大平 豊(大阪大学)
10:18	Q05a 「すざく」による1E 1740.7-2942 (Great Annihilator)周辺構造の観測2 中島真也(京都大学)	13:42	Q16a スペクトル進化から得られる若いパルサー星雲の特徴 田中周太(大阪大学)
10:30	Q06b すざくによる銀河中心(0°0,-1°6)付近の観測 村上弘志(立教大学)	13:54	Q17a 「すざく」による超新星残骸RCW 86南西部の詳細観測-加速現場は順行衝撃波か逆行衝撃波か?- 馬場 彩(DIAS/宇宙航空研究開発機構)
10:30	Q07b 「すざく」衛星による鉄K α 輝線を用いた天の川銀河X線放射の研究 内山秀樹(京都大学)	14:06	Q18a 磁場を持つ激変性の質量推定と、銀河面X線放射への寄与 湯浅孝行(東京大学)
10:30	Q08b IRSFによる銀河面X線リッジ放射天体の赤外線同定観測 森鼻久美子(東京大学/宇宙航空研究開発機構)	14:18	Q19a フェルミ・ガンマ線宇宙望遠鏡による銀河宇宙線の分布 水野恒史(広島大学)
10:42	Q09a 銀河円盤軟X線放射の起源 木村俊介(宇宙航空研究開発機構)	14:30	Q20a フェルミ・ガンマ線宇宙望遠鏡による超新星残骸W28の観測およびガンマ線放射機構の考察 片桐秀明(広島大学)
10:54	Q10a 「すざく」・XMM-NewtonによるスーパーバブルN11とN51Dの観測 山口弘悦(理化学研究所)	14:42	Q21a フェルミ・ガンマ線宇宙望遠鏡によるTeVガンマ線未同定天体HESS J1804-216の観測 花畑義隆(広島大学)
11:06	Q11a X線放射吸収線同時解析を用いた天の川銀河系内高温星間物質の研究 萩原利士成(宇宙航空研究開発機構)	14:54	Q22a オリオン分子雲からの広がったガンマ線放射の観測 奥村 暁(東京大学)
11:18	Q12b 「すざく」による大マゼラン星雲内超新星残骸N103Bの観測(II) 染谷謙太郎(宇宙航空研究開発機構)		

15:06	Q23a Fermi-LAT による太陽系近傍の小型分子雲の観測 佐田貴幸 (広島大学)	09:42	Q34a 「あかり」による遠赤外線拡散光全天マッピング IV 土井靖生 (東京大学)
15:18	Q24b 超新星残骸における乱流磁場増幅の3次元シミュレーション 井上剛志 (国立天文台)	09:54	Q35a 「あかり」による大マゼラン雲の遠赤外線分光マッピング 川田光伸 (名古屋大学)
	Q25c 超新星爆発が誘発する分子雲形成過程 松本 緑 (東北大学)	10:06	Q36a 遠赤外線との相関を利用した Diffuse Galactic Light の研究 家中信幸 (東京大学)
15:18	Q26b NANTEN2 によるマゼラン雲の CO(2-1) 輝線観測 河村晶子 (名古屋大学)	10:18	Q37a 高銀緯における銀河系ダストの遠赤外線放射の解析 幸山常仁 (大阪大学)
15:18	Q27b MOGSS: A high-resolution “sampler survey” of Galactic Molecular clouds Erik Muller (Nagoya University)	10:30	Q38a XTE J1550-564 のジェットに付随する分子雲 山本宏昭 (名古屋大学)
	Q28c MAGMA: The molecular cloud population of the Northern SMC Erik Muller (Nagoya University)	10:42	Q39a NANTEN2 observation of the SMC Erik Muller (Nagoya University)
3月26日(金) 午前・G会場		10:54	Q40a AzTEC-ASTE 1.1mm Observations toward the Molecular Ridge in the Large Magellanic Cloud 南谷哲宏 (北海道大学)
09:30	Q29b 気球搭載望遠鏡による星間 [CII]158 μm 線の銀河面広域サーベイ 奥田治之 (宇宙航空研究開発機構)	11:06	Q41a 巨大星団 Westerlund 1 周辺の TeV ガンマ線と分子雲の観測 大濱晶生 (名古屋大学)
09:30	Q30b 「あかり」による系内星形成領域の遠赤外線分光マッピング観測 安田晃子 (名古屋大学)	11:18	Q42a Westerlund 2 / HESS J1023-575 方向のアーキ・ジェット状分子雲の CO(J=2-1, 1-0) 高分解能観測 古川尚子 (名古屋大学)
09:30	Q31b 苫小牧 11m 電波望遠鏡によるオリオン座 A 分子雲の広域観測 館内 謙 (北海道大学)		
	Q32c Gemini OB1 アソシエーションにおける NH ₃ 輝線観測 大石晋恵 (北海道大学)		
	Q33c 巨大分子雲 CygOB7 におけるガスとダストの物理状態の解明 高木知里 (東京学芸大学)		

R. 銀河

3月26日(金)午後・G会場	3月24日(水)午後1・G会場
13:30 Q43a 超新星残骸 RXJ1713 の X 線と分子雲の詳細比較 佐野栄俊 (名古屋大学)	13:00 R01a 前 E+A 銀河候補天体 SDSSJ160241.00+521426.9 の可視光空間分解分光観測 松林和也 (京都大学)
13:42 Q44a NANTEN2 による大マゼラン雲内巨大分子雲複合体の CO(2-1) 輝線観測 朝倉丈裕 (名古屋大学)	13:12 R02a 「あかり」による大マゼラン星雲のダストの赤外線分光観測 梅畑豪紀 (東京大学)
13:54 Q45a The AMANOGAWA-2SB Galactic Plane Survey. 依田崇弘 (東京大学)	13:24 R03a AKARI/FIS による矮小銀河と星形成銀河のダスト観測 高瀬一喜 (東京大学)
14:06 Q46a Abundance Anomaly of the ^{13}C Species of CCH 坂井南美 (東京大学)	13:36 R04a すばる / Gemini 望遠鏡による、赤外線銀河の $20\mu\text{m}$ 高空間分解能撮像観測 今西昌俊 (国立天文台)
14:18 Q47a 分子雲中での炭素同位体分別 古家健次 (神戸大学)	13:48 R05a AKARI 2.5-5 micron Spectra of Luminous Infrared Galaxies 稲見華恵 (Caltech/SSC, ISAS/JAXA, 総合研究大学院大学)
14:30 Q48a レーザー宇宙物理 : 無衝突対向プラズマ中に於けるジェット生成 蔵満康浩 (大阪大学)	14:00 R06b SDSS データによるエッジオン近傍銀河の表面輝度分布 吉野 彰 (早稲田大学)
14:42 Q49a レーザー宇宙物理 : 弱い背景磁場中の非相対論的無衝突衝撃波 加藤恒彦 (大阪大学)	14:00 R07b miniTAO 望遠鏡 / ANIR の $\text{Pa}\alpha$ 狭帯域撮像でみる近傍 LIRGs 利川興司 (東京大学)
	14:00 R08b ASTE WHSF による赤外線銀河 NGC4418、Arp220 の $\text{HCN}(4-3)/\text{HCO}^+(4-3)$ 輝線の同時観測 今西昌俊 (国立天文台)
	14:12 R09b 渦巻銀河におけるバーの強さと星形成の関係 松井佳菜 (北海道大学)
	14:12 R10b 野辺山 45 m 鏡レガシープロジェクト : 銀河のラインサーベイ観測 中島 拓 (国立天文台)
	14:12 R11b 低金属量での $\text{CO}-\text{H}_2$ Conversion Factor : 矮小銀河 DDO154 の CO 探査 小麦真也 (宇宙航空研究開発機構)

14:24	R12a	アンテナ銀河の高分解能 CO(J=3-2) 観測による分子雲複合体の検出 植田準子 (東京大学)	18:06	R23a	VERA による星形成領域 ON1 の位置 天文観測 永山 匠 (鹿児島大学)
14:36	R13a	CO 輝線パラメータによる棒渦巻銀河の分子ガスの物理状態についての考察 徂徠和夫 (北海道大学)	18:18	R24b	すばる /HDS による銀河系外部ハロー星のリチウム組成 石垣美歩 (東北大学)
14:48	R14a	野辺山 45m 鏡 M33 レガシープロジェクト III : 全面マップ - 多波長データとの比較 濤崎智佳 (上越教育大学)	18:18	R25b	広視野冷却望遠鏡 WFCT-II による銀河面脈動星探査の計画 松永典之 (東京大学)
3月24日(水) 午後2・G会場				R26c	もうひとつの dynamical friction 井上茂樹 (東北大学)
16:30	R15a	X線光度の異なる楕円銀河周辺での矮小銀河の分布と可視光光度関数 戸塚 都 (東京理科大学)		R27c	特異なゆらぎによる球状星団の構造形成 田代 徹 (お茶の水女子大学)
16:42	R16a	「すざく」衛星によるスターバースト銀河 NGC3079 の重元素組成比の決定 小波さおり (理化学研究所 / 東京理科大学)			
16:54	R17a	かみのけ座銀河団における銀河光度関数の研究 山野井 瞳 (総合研究大学院大学)			
17:06	R18a	渦状腕構造の維持機構 馬場淳一 (国立天文台)			
17:18	R19a	N 体シミュレーションを用いたアンドロメダ・ストリームの速度構造の解析とその時間発展 三木洋平 (筑波大学)			
17:30	R20a	地球質量ダークマターマイクロハローからのガンマ線放射 石山智明 (国立天文台 / 東京大学)			
17:42	R21a	銀河系中心部の大局的磁場構造 - トロイダルからポロイダルへの変化 - 西山正吾 (京都大学)			
17:54	R22a	銀河系中心における特異偏光星の発見 義川達人 (京都大学)			

S. 活動銀河核

3月24日(水) 午後1・A会場		3月24日(水) 午後2・A会場	
13:00	S01a 電波単一鏡観測されていないAGN連続波のlight-curveは、VLBIで描きます。 貴島政親(総合研究大学院大学/国立天文台)	16:30	S11b すざく衛星によるセイファート1型銀河の幅の狭い鉄輝線の観測 高橋宏明(大阪大学)
13:12	S02a VLBA多周波同時位相補償観測におけるNGC 4261の解析結果 羽賀崇史(総合研究大学院大学)	16:30	S12b 全天X線監視装置MAXIによる活動銀河核の観測 上野史郎(宇宙航空研究開発機構)
13:24	S03a ブレーザー3C 279の長期多波長同時観測から探る相対論的ジェットの姿 林田将明(KIPAC/SLAC、Stanford Univ.)	16:30	S13b SXDS領域におけるX線選択の活動銀河中心核探査 秋山正幸(東北大学)
13:36	S04a 電波銀河3C 84のフレア極初期におけるpcスケールジェットのVLBIモニター 鈴木賢太(東京大学)	16:42	S14a 活動銀河中心核における巨大バイナリーブラックホールの質量関数 早崎公威(北海道大学)
13:48	S05a ブレーザー3C 454.3の2009年アウトバーストの多波長連携観測 笹田真人(広島大学)	16:54	S15a 近赤外線光度の極端に低い活動銀河核はSuper-Eddington天体か? 川勝望(筑波大学)
14:00	S06a ブレーザー天体3C 66Aのフェルミガンマ線望遠鏡およびかなた望遠鏡による観測 伊藤亮介(広島大学)	17:06	S16a MAGNUMプロジェクト(1)近傍セイファート銀河の可視近赤外変光遅延時間の変化について 越田進太郎(東京大学)
14:12	S07a MAXIによるAGNのX線変動モニター観測 杉森航介(東京工業大学)	17:18	S17a MAGNUMプロジェクト(2)中赤方偏移動SDSS QSOの光度変動に伴う紫外カラー変動 坂田悠(東京大学)
14:24	S08a 電波銀河4C 50.55(IGR J21247+5058)の「すざく」による観測 田崎文得(京都大学)	17:30	S18a ケーサーにおけるFeII輝線放射ガスの性質 鮫島寛明(東京大学)
14:36	S09a Seyfert 1型銀河MCG-6-30-15のX線放射およびX線吸収のメカニズム 海老沢研(宇宙航空研究開発機構)	17:42	S19a 赤外線天文衛星「あかり」中間赤外線全天サーベイカタログで発見されたAGNの可視分光観測結果 鳥羽儀樹(総合研究大学院大学)
14:48	S10a Fermiガンマ線望遠鏡による電波銀河Cen AのGiant Lobeの観測 深沢泰司(広島大学)	17:54	S20a 「あかり」中間赤外線全天サーベイによる赤外線銀河からの高温ダスト放射の発見 大藪進喜(宇宙航空研究開発機構)
		18:06	S21b COSMOS天域における高赤方偏移動低光度ケーサー探査 池田浩之(愛媛大学)
		18:06	S22b 自己重力優勢なAGN降着円盤における粘性表現の影響 甲斐隆志(熊本大学)

T. 銀河団

3月25日(木) 午前・A会場		
09:30	T01a 銀河銀河群の温度やX線構造と重元素拡散の関係 林 克洋 (広島大学)	T12c かみのけ座銀河団中の銀河の周りに広がる巨大な電離ガスの可視分光観測 吉田道利 (国立天文台)
09:42	T02a XMM衛星とすざく衛星による銀河団ガスの鉄の分布とその起源 松下恭子 (東京理科大学)	11:42 T13b SZ効果から導かれるハッブル定数の系統誤差の発見 :Chandra データの再解析 河原 創 (東京大学)
09:54	T03a Suzaku Observation of Abell 1689: Anisotropic Temperature and Entropy Distributions Associated with the Large-Scale Structure 岡部信広 (ASIAA,Taiwan)	T14c すざく衛星による衝突銀河団 Abell 85の観測 : 温度上昇と subcluster の運動について 田中伸広 (国立天文台)
10:06	T04a 「すざく」による銀河団、超銀河団に付随する中高温銀河間物質の探査 竹井 洋 (宇宙航空研究開発機構)	T15c Brightest Cluster Galaxies の統計的性質 : 親銀河団の性質との相関 II 隈井泰樹 (熊本学園大学)
10:18	T05a X線と弱重力レンズによる ZwCl0823.2+0425 銀河団周辺の大規模構造フィラメントの解析 渡邊瑛里 (山形大学)	
10:30	T06a 銀河団の軸比分布 : XMM-Newton 銀河団カタログの解析 河原 創 (東京大学)	
10:42	T07a NFW モデルを用いた早期型銀河の暗黒物質の中心集中度の比較 薙野 綾 (東京理科大学)	
10:54	T08a XMM-Newton 衛星による Fornax 銀河団の観測 村上英義 (東京理科大学)	
11:06	T09a 「すざく」衛星による銀河団外縁部の観測的研究 星野晶夫 (首都大学東京)	
11:18	T10a XMM-Newton 衛星とすざく衛星による銀河団候補天体の発見 山内茂雄 (奈良女子大学)	
11:30	T11a かみのけ座銀河団の Diffuse Intracluster Light の観測 中島王彦 (東京大学)	

U. 宇宙論

3月24日(水) 午後1・D会場		3月24日(水) 午後2・D会場	
13:00	U01a 大規模数値計算で探るハローの平均表面密度プロファイルとハロー周辺に付随した物質 正木彰伍 (名古屋大学)	16:30	U11a 初代星の輻射による種磁場の生成 土井健太郎 (甲南大学)
13:12	U02a SDSS 銀河分光サーベイを用いた密度揺らぎの確率分布関数 福永健介 (東京大学)	16:42	U12a 銀河間磁場による Faraday Rotation Measure 赤堀卓也 (忠南大学)
13:24	U03a バリオン音響振動の減衰を用いた質量ゆらぎの振幅の制限 中村 元 (広島大学)	16:54	U13a 宇宙膨張に matter contribution を考慮したときの磁場とニュートリノの物質密度揺らぎに対する影響 山崎 大 (Academia Sinica)
13:36	U04a 新たな測定方法 HOLICs を用いた Weak Lensing Analysis の改善 大倉悠貴 (国立天文台)	17:06	U14a スペース重力波アンテナ DECIGO 計画(16):サイエンス 西澤篤志 (国立天文台)
13:48	U05a 弱重力レンズサーベイでの非ガウス誤差の影響 佐藤正典 (名古屋大学)	17:18	U15a 銀河、主にダークマターハローの衝突時に生ずる重力波 稲垣貴弘 (名古屋大学)
14:00	U06a CMB の弱重力レンズ効果と銀河分布との相関による初期密度揺らぎの非ガウス性への制限 竹内良貴 (名古屋大学)	17:30	U16a 背景重力波の直接観測によるインフレーションパラメータの決定 黒柳幸子 (名古屋大学)
14:12	U07a 宇宙論パラメータの決定における CMB レンズングの有効性 並河俊弥 (東京大学)	17:42	U17a 拡張した DGP モデルにおけるファントムクロッシング 平野耕一 (一関工業高等専門学校)
14:24	U08a Evidence of Quasi-linear Super-Structures in the Cosmic Microwave Background and Galaxy Distribution 井上開輝 (近畿大学)	17:54	U18a スカラー・テンソル・ベクトル重力理論に基づく宇宙モデルの幾何学的テスト 鈴木隆之 (山口大学)
14:36	U09a テンソル、ベクトルモードの揺らぎから作られる CMB バイスpekトルの定式化 白石希典 (名古屋大学)	18:06	U19a 宇宙膨張論の検証 XIV クェーサーの「等級 m - 赤方偏移率 z 」相関についての考察 阿武靖彦 (-)
14:48	U10b 宇宙背景輻射の 2 次揺らぎ及びバイスpekトル 新田大輔 (東北大学)	18:18	U20a ビッグバンの以前の大きさ原子数と引力 小堀しづ (-)
		18:30	U21b ダークマターとは何か 小堀しづ (-)
			U22c 小惑星とエッジワース・カイパーベルトの小惑星とオールの雲の生成 小堀しづ (-)
			U23c Quantization on an Internal Category: Internalization of Arrow Fields 中山薫二 (龍谷大学)
			U24c 時間依存する時空における光 / 信号伝播モデル構築への試み 荒木田英禎 (早稲田大学)

V. 地上観測機器

3月25日(木) 午後・B会場			
13:30	V01a 最早ブラックホール結像装置：キャラバン-sub2 三好 真 (国立天文台)	14:42	V14c 高周波大型球面鏡の数値的検討 氏原秀樹 (総研大/情報通信研究機構)
13:42	V02a 1.85m 電波望遠鏡の現状と進捗状況 大西利和 (大阪府立大学)	14:42	V15b 電波トランジェントの正体解明に向けて 大師堂経明 (早稲田大学)
13:54	V03b 1.85m 電波望遠鏡の制御系システムの開発について 國實真人 (大阪府立大学)	14:42	V16b 那須パルサー観測所周辺の電波環境-1400 MHz RFI サーベイ 青木貴弘 (早稲田大学)
13:54	V04b 1.85 m 電波望遠鏡観測プログラムの開発 竹中敬雅 (大阪府立大学)	14:54	V17b 同軸ケーブルの温度変化による位相の変化 尾臺啓司 (早稲田大学)
13:54	V05b ASTRO-G MMIC-LNA チップの地上観測用としての性能評価 亀谷和久 (宇宙航空研究開発機構)	14:54	V18b 低高度における天体の追尾観測及びその補正 大坪秋生 (早稲田大学)
14:06	V06a 野辺山 45m 鏡用新観測システムの開発 II 久野成夫 (国立天文台)	14:54	V19b 那須観測所 30m 鏡による SN 比の考察と最小検出感度向上 児玉良輔 (早稲田大学)
14:18	V07b 野辺山 45 m 鏡用 100 GHz 帯 2SB 受信機開発の進捗 II 中島 拓 (国立天文台)	15:06	V20b 光結合 VLBI を利用した突発天体の追観測 新沼浩太郎 (国立天文台)
14:18	V08b 野辺山 45m 搭載 2 ビーム 2SB 受信機における定在波除去システムの開発 木村公洋 (大阪府立大学)	15:06	V21b 高萩 / 日立 32 m 電波望遠鏡の整備状況 (2) 米倉覚則 (茨城大学)
14:18	V09b ASTE 搭載多色連続波カメラの開発 (2) : 光学系の開発 竹腰達哉 (北海道大学)	15:06	V22b 茨城 32m 鏡搭載用 6.7GHz 帯冷却受信機開発 (II) 西村 淳 (大阪府立大学)
14:30	V10a ASTE 搭載多色連続波カメラの開発 (1) 大島 泰 (国立天文台)	15:18	V23b 6.7GHz メタノールレーザー、8GHz 帯同時受信ポーラライザーの開発 松本浩平 (大阪府立大学)
14:42	V11b ASTE 搭載多色連続波カメラの開発 (3) : ボロメータアレイの開発 川村雅之 (東京大学 / 国立天文台)	15:18	V24b 帯域通過特性の平滑化による分光観測の効率化 亀野誠二 (鹿児島大学)
	V12c 風外乱起源の指向追尾誤差の補正手法 浮田信治 (国立天文台)		V25c 山口 32 m 電波望遠鏡の 22GHz 冷却受信機 藤沢健太 (山口大学)
	V13c ミリ波望遠鏡の安価な製作法についての考察 春日 隆 (法政大学)		V26c JVN 用 天体構造効果遅延時間計算ソフトウェア JADESS 澤田 - 佐藤 聡子 (山口大学)

3月26日(金) 午前・B会場		3月26日(金) 午後・B会場	
09:30	V27a ALMA の建設 (12) 井口 聖 (国立天文台)	13:30	V39b 電波望遠鏡用広域電波干渉シミュレータ RFS-4i の開発 中島潤一 (情報通信研究機構)
09:42	V28a ALMA Band10 受信機開発進捗状況 金子慶子 (国立天文台)	13:30	V40b HF 帯電波天文アンテナによる PLC 漏洩電界の測定結果 大石雅寿 (国立天文台)
09:54	V29a ALMA のための光ローカル信号の発生と伝送 その2 木内 等 (国立天文台)	13:30	V41b 統計的手法による微弱放射電力測定システムの開発 (低周波部) 氏原秀樹 (情報通信研究機構)
10:06	V30a ACA12m アンテナ性能評価試験 10: メトロロジ移動時の指向精度 中西康一郎 (国立天文台)	13:42	V42a 電波天文観測装置の広帯域化技術と天文観測的意義 川口則幸 (国立天文台)
10:18	V31a ACA12m アンテナ性能評価試験 11 : 高速スイッチング 直井隆浩 (国立天文台)	13:54	V43b 1G-10GHz 帯広帯域受信機システムの開発 (続報) 中川亜紀治 (鹿児島大学)
10:30	V32a ACA12m アンテナ性能評価試験 11 : 鏡面精度2 齋藤正雄 (国立天文台)	13:54	V44b 有限要素法ソフトによるアンテナシミュレーション 氏原秀樹 (情報通信研究機構)
10:42	V33a ALMA-ACA 用 FX 相関器の開発 VI. 試験報告その2 鎌崎 剛 (国立天文台)	13:54	V45b 北海道大学 1.6m 光学赤外望遠鏡計画の概要 渡辺 誠 (北海道大学)
10:54	V34a ALMA-ACA 用 FX 相関器の開発 - ALMA サイトでの ACA 相関器へのアンテナ信号入力試験 黒野泰隆 (国立天文台)	14:06	V46a すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト: LGS 観測モードの進捗状況 早野 裕 (国立天文台)
11:06	V35a ACA 相関器の詳細 bias と noise を simulator で求める 近田義広 (国立天文台)	14:18	V47b すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト: レーザーガイド星生成システムの性能 斉藤嘉彦 (国立天文台)
11:18	V36a ALMA データ解析ソフトウェア CASA の開発 3 川崎 渉 (国立天文台)	14:18	V48b すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト: 低次波面センサの開発 渡辺 誠 (北海道大学)
11:30	V37a ACA アンテナ用電波ホログラフィ受信機系の開発 山田真澄 (国立天文台)	14:18	V49b すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト: ガイド星捕捉ユニットの開発 美濃和陽典 (国立天文台)
11:42	V38b 量子化補正を高調波等の成分の和の形式の式で示す 近田義広 (国立天文台)	14:30	V50b すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト: 赤外副鏡によるティップティルト・オフロード 大屋 真 (国立天文台)

	V51c すばるレーザーガイド星補償光学系の実時間制御系のレーザーモード対応 服部雅之 (国立天文台)	3月27日(土) 午前・B会場
14:30	V52b HSC データ解析システムプロトタイプ : Suprime-Cam 観測支援用オンサイト データ解析システムの構築 古澤久徳 (国立天文台)	09:30 V64a 南極 40cm 赤外線望遠鏡の開発と性能評価 沖田博文 (東北大学)
14:30	V53b SMOKA 新検索機能の開発 小澤友彦 (紀美野町みさと天文台)	V65c 中国西部域サイト調査 2009 (II 改) - チベット・オマ地区での調査 佐々木敏由紀 (国立天文台)
14:42	V54b Gfarm 広域分散ファイルシステムによる大規模かつスケラブルな天文データ解析 田中昌宏 (筑波大学)	V66c エジプト・コッタミア天文台 188cm 望遠鏡の改修 (II) 小矢野久 (国立天文台)
14:42	V55b デジタル一眼レフカメラによる突発変光天体観測システム AROMA-W の開発 3 高橋一郎 (青山学院大学)	09:42 V67a TAO 計画 1: 東京大学アタカマ 1m 望遠鏡の現状 峰崎岳夫 (東京大学)
	V56c 広視野監視システム (MWM) の観測データベースの開発と KT Eri の観測 廿日出勇 (宮崎大学)	09:54 V68a TAO 計画 2 : miniTAO/MAX38 による地上望遠鏡初の 30 μ m 帯観測 中村友彦 (東京大学)
14:42	V57b 木曾広視野カメラ KWFC 用 CCD 読み出しシステムの開発 加藤拓也 (東京大学)	10:06 V69a TAO 計画 3 : 6.5m 用近赤外線分光撮像装置の開発 小西真広 (東京大学)
14:54	V58b 可視1露出型偏光撮像器 HOWPol の開発 : (5) 分光、GRB モードと器械偏光 小松智之 (広島大学)	10:18 V70a TAO 計画 4 : 6.5m 用中間赤外線分光撮像装置の開発 酒向重行 (東京大学)
14:54	V59b マイクロレンズアレイと光ファイバーを用いた面分光ユニットの開発 尾崎忍夫 (国立天文台)	10:30 V71a Japanese Virtual Observatory (JVO) の研究開発 - 2009 年度全体進捗 大石雅寿 (国立天文台)
14:54	V60b 矩形開口ステラコロナグラフの開発 荻野智司 (神戸大学)	10:42 V72a Japanese Virtual Observatory (JVO) の研究開発 - 新規機能の紹介 白崎裕治 (国立天文台)
15:06	V61b 2009 年皆既日食で用いた船上観測のための可視光赤外線観測装置 伊藤洋一 (神戸大学)	10:54 V73b Japanese Virtual Observatory の研究開発-新機能デモ 小宮 悠 (国立天文台)
15:06	V62b 「かごしま丸 2009 皆既日食航海」における 12GHz 電波観測用機材の製作 坂井伸行 (鹿児島大学)	10:54 V74b 南極赤外線望遠鏡による観測計画 市川 隆 (東北大学)
	V63c 「かごしま丸 2009 皆既日食航海」における白色光コロナ観測用機材の製作 仲谷善一 (京都大学)	10:54 V75b TAO 計画 5 : ANIR ステータスレポート 本原顕太郎 (東京大学)

W. 飛翔体観測機器

		3月25日(木) 午前・F会場
11:06	V76a 京大岡山 3.8m 新技術望遠鏡の開発 XIII : 主鏡位置制御機構試験の進捗状況 森谷友由希 (京都大学)	09:30 W01a JASMINE (赤外線位置天文観測衛星) 計画シリーズの全体的状況 郷田直輝 (国立天文台)
11:18	V77a Development of Four-Color Simultaneous Imager for Lulin 2-m Telescope 木下大輔 (国立中央大学)	09:42 W02a Nano-JASMINE の観測性能評価 初鳥陽一 (国立天文台)
	3月27日(土) 午後・B会場	09:54 W03b JASMINE 計画シリーズにおける開発準備状況 矢野太平 (国立天文台)
13:30	V78a 岡山 188cm 鏡と高分散分光器 HIDES の光ファイバリンク化計画 II. エンジニアリングファーストライトと今後の予定 神戸栄治 (国立天文台)	09:54 W04b レーザー干渉計型高精度変位センサーを用いた JASMINE 望遠鏡素材の熱変形測定 丹羽佳人 (京都大学 / 国立天文台)
13:42	V79a シングルモードファイバ瞳再配置法による高ダイナミックレンジ撮像装置の開発 小谷隆行 (宇宙航空研究開発機)	09:54 W05b 超小型赤外線位置天文衛星 Nano-JASMINE の軌道上における放射線量の評価 室岡純平 (東京大学)
13:54	V80a すばる望遠鏡高コントラスト撮像装置 HiCIAO : AO と組み合わせた性能評価 II 工藤智幸 (国立天文台)	W06c Nano-JASMINE : 位置決定精度と観測星数 小林行泰 (国立天文台)
14:06	V81a すばる主焦点全面分光のデータ解析ソフトウェアの開発 大野貴博 (東京大学)	W07c Nano-JASMINE データ解析及び公開システムの構築 山田良透 (京都大学)
14:18	V82a Ge イメージングレーティングを用いた中間赤外線高分散分光器の分光性能評価 平原靖大 (名古屋大学)	W08c JASMINE 計画シリーズのデータ応用について 辻本拓司 (国立天文台)
	V83c 中間赤外線イメージスライサ搭載型分光器 MIRSIS の検出器系開発 土佐政宗 (茨城大学)	10:06 W09b 超広視野初期宇宙探査衛星 WISH 計画の進捗 山田 亨 (東北大学)
	V84c 中間赤外線イメージスライサ搭載型分光器 MIRSIS におけるスライサ光学系システムの評価 富田皓一 (茨城大学)	10:06 W10b WISH : フィルターセット検討および 3.2 μm 広帯域フィルター試作試験 矢部清人 (京都大学)
14:30	V85a 神岡低温レーザー干渉計 CLIO の現状 大橋正健 (東京大学)	10:06 W11b WISH : フィルター交換機構開発の現状 諸隈智貴 (国立天文台)
		10:18 W12b 太陽 Ly α 線 (1216 Å) の偏光分光観測ロケット実験 CLASP 成影典之 (国立天文台)

		3月25日(木) 午後・F会場			
10:18	W13b	Ly α 線(1216Å)の偏光分光計 CLASPに搭載する1/2回転波長板の 開発 藤村大介(国立天文台/東京大学)	13:30	W24a	硬X線太陽観測ロケット実験FOXSIに 向けた両面シリコンストリップ検出器の 開発 齊藤新也(宇宙航空研究開発機構)
10:18	W14b	CLASP開発にむけたシンクロトロン放 射光を用いた回折格子の反射率測定 石川遼子(東京大学/国立天文台)	13:42	W25a	ダークバリオン探査を目指す小型衛星 DIOSの開発の現状 大橋隆哉(首都大学東京)
10:30	W15a	次期太陽観測衛星に向けたX線望遠 鏡の検討 坂尾太郎(宇宙航空研究開発機構)	13:54	W26a	TES型X線マイクロカロリメータの物理 特性と超過雑音との相関 赤松弘規(首都大学東京)
10:42	W16a	太陽観測衛星SOLAR-C計画IV:ワー キンググループの活動進捗報告 原弘久(国立天文台)	14:06	W27a	誘電体X線マイクロカロリメータの開 発 関谷典典(宇宙航空研究開発機構)
10:54	W17b	SOLAR-C:高頻度動作が可能な高信 頼性回転駆動機構の国内開発(I) 清水敏文(宇宙航空研究開発機構)	14:18	W28a	DIOS衛星搭載用4回反射X線望遠鏡 開発の現状 田原譲(名古屋大学)
10:54	W18b	レーザープラズマ光源を使ったXmas 望遠鏡の擦像実験 北本俊二(立教大学)	14:30	W29b	TES型X線マイクロカロリメータ素子 製作の再現性の評価 大石詩穂子(首都大学東京)
10:54	W19b	非対称ナル干渉と補償光学を融合し た系外惑星直接検出のための超高コ ントラスト撮像法(4) 西川淳(国立天文台)	14:30	W30b	次世代天文衛星搭載を目指した小型 2段式断熱消磁冷凍機の開発 篠崎慶亮(宇宙航空研究開発機構)
11:06	W20a	8分割フォトニック結晶マスクコ罗纳 グラフの性能評価 村上尚史(北海道大学)	14:42	W31a	ガンマ線バースト偏光検出器(GAP)の 打ち上げ前総合試験 米徳大輔(金沢大学)
11:18	W21a	スペースVLBI計画:ASTRO-G(VSOP-2) プロジェクトの進捗(その3) 村田泰宏(宇宙航空研究開発機構)	14:54	W32a	X線偏光観測衛星GEMSを模擬した X線偏光計のバックグラウンドシミュ レーション 岩橋孝典(理化学研究所/東京理科大学)
	W22c	次期ミリ波スペースVLBI計画: ASTRO-G衛星開発の進捗 坪井昌人(宇宙航空研究開発機構)	15:06	W33a	硬X線偏光観測用超小型衛星 TSUBAMEに搭載する偏光計の開発 榎本雄太(東京工業大学)
11:30	W23b	ASTRO-G大型展開アンテナの鏡面 メッシュの雑音評価 亀谷和久(宇宙航空研究開発機構)	15:18	W34b	超小型偏光観測衛星Tsubameに搭載 する広視野バーストモニターの開発 谷津陽一(東京工業大学)
			15:18	W35b	DLC成膜によって曲げられたSi結晶 の曲率とX線反射率 楠進吾(中央大学)

3月26日(金) 午前・F会場		3月26日(金) 午後・F会場	
09:30	W36a 精密研磨マンドレルによるX線反射鏡の改良 林 多佳由 (首都大学東京 / 宇宙航空研究開発機構)	13:30	W47a ASTRO-H 衛星搭載硬 X 線イメージング検出器に用いる電極分割型 CdTe 素子の応答の研究 杉本宗一郎 (宇宙航空研究開発機構 / 東京大学)
09:42	W37a 次世代 X 線衛星搭載を目指した高温塑性変形を用いたシリコン X 線反射鏡の開発と性能評価 佐藤拓郎 (首都大学東京)	13:42	W48b ASTRO-H 衛星搭載 X 線 CCD カメラ (SXI) ブレッドボードモデルの開発 穴吹直久 (大阪大学)
09:54	W38a Astro-H/XRT と硬 X 線望遠鏡ハウジングの開発の現状 粟木久光 (愛媛大学)	13:42	W49b ASTRO-H 搭載 X 線カメラ用 CCD 素子の性能評価 上田周太郎 (大阪大学)
10:06	W39a Astro-H 搭載 X 線望遠鏡のプリコリメータ開発の現状 森 英之 (宇宙航空研究開発機構)	13:42	W50b X 線天文衛星 Astro-H 搭載 X 線 CCD カメラ (SXI) の紫外線対策 III 渡辺辰雄 (工学院大学)
10:18	W40a ASTRO-H/XRT : 硬 X 線望遠鏡 (HXT) 開発の現状 宮澤拓也 (名古屋大学)		W51c コリメートX線斜入射法による CCD 空乏層厚の精密測定手法の開発 (2) 青山翔一 (宮崎大学)
10:30	W41a ASTRO-H/HXT : 多層膜成膜システムの現状 II 酒井理人 (名古屋大学)	13:54	W52a モンテカルロシミュレーションを用いた次期 X 線天文衛星 ASTRO-H 搭載軟ガンマ線検出器 SGD の放射化バックグラウンドの評価 平木一至 (広島大学)
10:42	W42a ASTRO-H 搭載 精密軟 X 線分光装置 SXS の開発の現状 (III) 藤本龍一 (金沢大学)	14:06	W53a ASTRO-H 搭載 HXI/SGD の高電圧電源部の開発状況 原山 淳 (埼玉大学)
10:54	W43a ASTRO-H 搭載 精密軟 X 線分光装置 SXS 用ヘリウム排気系の開発の現状 石川久美 (首都大学東京)	14:18	W54a ASTRO-H 観測機器用電源系の雑音低減の研究 松田桂子 (総合研究大学院大学 / 宇宙航空研究開発機構)
11:06	W44a ASTRO-H 搭載 精密軟 X 線分光装置 SXS の波形処理システム PSP の開発の現状 下田優弥 (埼玉大学)	14:30	W55a ASTRO-H 衛星における SpaceWire を用いた時刻配信方法の検証 (2) 神頭知美 (埼玉大学)
11:18	W45a 次期 X 線天文衛星 ASTRO-H (ex-NeXT) 搭載硬 X 線イメージャ (HXI) の開発の現状 (IV) 中澤知洋 (東京大学)	14:42	W56b ASTRO-H 衛星のコンタミネーション対策 : IRU 防振ゴムと X 線望遠鏡フォイルからのアウトガス測定 清水一真 (宇宙航空研究開発機構 / 東京工業大学)
11:30	W46a 次期 X 線衛星 ASTRO-H 搭載軟 γ 線検出器に向けた Si-Pad 検出器の開発 道津匡平 (広島大学)		

14:42	W57b すざく衛星搭載 X 線 CCD カメラ (XIS) の P-sum モードの較正 (II) 幸村孝由 (工学院大学)	10:06	W67a SPICA 衛星搭載へ向けた遠赤外 Ge:Ga モノリシック検出器の開発 (I) : 概要 白旗麻衣 (宇宙航空研究開発機構)
14:42	W58b MAXI/GSC の軌道上データによるアライメント較正 杉森航介 (東京工業大学)	10:18	W68a 次世代赤外線天文衛星 SPICA 搭載中間赤外線カメラの概念設計 III 和田武彦 (宇宙航空研究開発機構)
14:54	W59b 全天 X 線監視装置 MAXI のデータ公開について 小浜光洋 (理化学研究所 / 宇宙航空研究開発機構)	W69c 次世代赤外線天文衛星 SPICA 搭載中間赤外中分散 Echelle 分光器の光学設計 左近 樹 (東京大学)	
15:06	W60a SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器の開発 1 : 計画の概要とトリガ機能と CDS 回路を持つ最初のテストデバイス XRPIX1 の紹介 鶴 剛 (京都大学)	10:30	W70a SPICA 搭載コロナグラフ観測装置 塩谷圭吾 (宇宙航空研究開発機構)
15:18	W61a SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器の開発 2 : INTPIX の X 線評価 劉 周強 (京都大学)	W71c SPICA コロナグラフ観測装置用波面補償光学システムの開発 小谷隆行 (宇宙航空研究開発機構)	
3 月 27 日 (土) 午前・F 会場			
09:30	W62a 次世代赤外線天文衛星 SPICA 計画の現状 中川貴雄 (宇宙航空研究開発機構)	10:42	W72a マルチカラー光源を用いた HOCT (ほくと) 真空コロナグラフの開発 樫 香奈恵 (総合研究大学院大学 / 宇宙航空研究開発機構)
09:42	W63a SPICA 望遠鏡の検討と開発の現状について 金田英宏 (名古屋大学)	10:54	W73a ウェファボンディングによる遠赤外線 Ge:Ga BIB 型検出器の開発 (2) 澤山慶博 (東京大学)
09:54	W64b SPICA 搭載焦点面観測装置の概要と現状 松原英雄 (宇宙航空研究開発機構)	11:06	W74a 次世代遠赤外線ゲルマニウム検出器の開発 V 和田健介 (東京工業大学)
09:54	W65b SAFARI : A far-IR imaging spectrometer for SPICA 土井靖生 (東京大学)	11:18	W75b 常温ウェハ接合による遠赤外線 Ge:Ga 接合素子の光感度特性の評価 狩野良子 (名古屋大学)
09:54	W66b SPICA 衛星搭載へ向けた遠赤外 Ge:Ga モノリシック検出器の開発 (II) : 性能評価 神谷修平 (東京大学)	11:18	W76b サブ波長構造を利用した中間赤外線多層干渉フィルターの基礎研究 槇坪宏展 (東京大学)
		11:18	W77b 気球搭載遠赤外線干渉計 FITE : 初観測に向けて 芝井 広 (大阪大学)

X. 銀河形成

3月27日(土) 午後・W会場	3月24日(水) 午後1・C会場
13:30 W78a 宇宙赤外線背景放射のロケット観測 CIBER-改良実験報告 - 新井俊明 (東京大学 / 宇宙航空研究開発機構)	13:00 X01a 金属欠乏星の形成史と銀河形成 小宮 悠 (国立天文台)
13:42 W79a 赤外線天文衛星「あかり」の現状について 村上 浩 (宇宙航空研究開発機構)	13:12 X02a ハロー星の軌道離心率分布関数を用いた、銀河形成に対する新しいテスト II 服部公平 (東京大学)
13:54 W80a 「すざく」衛星搭載硬 X 線検出器 (HXD) 主検出部の現状 (IV) 西野 翔 (広島大学)	13:24 X03a 矮小銀河からの銀河風が及ぼすダークマターハロー中心質量密度分布への影響 扇谷 豪 (筑波大学)
14:06 W81a 「すざく」衛星搭載硬 X 線検出器広帯域全天モニタ部 (HXD-WAM) の現状 (IX) 山岡和貴 (青山学院大学)	13:36 X04a 渦巻銀河からの質量放出による低光度 S0 銀河の形成 欠畑賢之 (東京大学)
14:18 W82a 全天 X 線監視装置 (MAXI)X 線 CCD カメラ (SSC) の初期成果 木村 公 (大阪大学)	13:48 X05a 高密度環境における DM ハローの合体軌道 大木 平 (北海道大学)
14:30 W83a 全天 X 線監視装置 MAXI の GSC 装置の観測状況 三原建弘 (理化学研究所)	14:00 X06a 大質量ブラックホール多体系におけるブラックホールの合体成長 谷川 衝 (筑波大学)
14:42 W84a スペース重力波アンテナ DECIGO 計画 (14) : 設計・計画 川村静児 (国立天文台)	14:12 X07a 銀河衝突合体における Hyper Star Clusters 形成と銀河中心への質量供給 松井秀徳 (国立天文台)
14:54 W85a スペース重力波アンテナ DECIGO 計画 (15) : パスファインダー 安東正樹 (京都大学)	14:24 X08a Damped Lyman Alpha Systems における星の紫外線輻射と背景輻射場の影響 矢島秀伸 (筑波大学)
	14:36 X09a ダスト供給源の年齢依存性を考慮した銀河のダスト形成史 浅野良輔 (名古屋大学)
	14:48 X10a ダストのサイズ進化を考慮した高赤方偏移の銀河形成と宇宙再電離 山澤大輔 (北海道大学)

3月24日(水) 午後2・C会場			
16:30	X11a すばる主焦点多天体分光器 FMOS – 共同利用開始前夜 田村直之 (国立天文台)	18:06	X23b A young IR galaxy surrounded by a shell of supernova-condensed dust 川良公明 (東京大学)
16:42	X12b すばる主焦点多天体分光器 FMOS – 性能評価1 連続光 矢部清人 (京都大学)	18:06	X24b 4C+23.56 周囲の原始銀河団: すばるによる LAE 探査と新 Ly α blob の発見 田中 壱 (国立天文台)
16:42	X13b すばる主焦点多天体分光器 FMOS – 性能評価2 輝線 住吉昌直 (京都大学)	18:18	X25b 1.1 mm AzTEC MAP での スタッキング解析による sBzK 銀河の星質量と星形成率の関係 五十嵐創 (東京大学)
	X14c すばる主焦点多天体分光器 FMOS – data reduction 河手香織 (京都大学)		X26c 近傍と z=0.8 銀河団にある早期型銀河の分光学的性質から探る銀河形成 山田善彦 (国立天文台)
16:42	X15b FAST:A Fully Asynchronous Split Time-integrator for Self-Gravitational Fluid 斎藤貴之 (国立天文台)		X27c Interpreting MIR SEDs of PAH galaxies at z ~ 0.5 based on “SPICY”; the MIR spectroscopic survey by AKARI 大山陽一 (Academia Sinica, Institute of Astronomy and Astrophysics)
16:54	X16a Spitzer/IRAC 3.6 μ m でセレクトした銀河の星質量と星形成率の進化 村田勝寛 (名古屋大学)		
17:06	X17a 銀河の表面輝度と恒星質量の普遍的関係と進化 市川 隆 (東北大学)	3月25日(木) 午前・C会場	
17:18	X18a The Environmental Dependence of Galaxy Properties at z=2 田中賢幸 (IPMU/ESO)	09:30	X28a ULIRG のダストモデルについて 清水孝則 (東京大学)
17:30	X19a MOIRCS による z ~ 2 の星形成銀河の近赤外線分光観測 吉川智裕 (東北大学)	09:42	X29a 「あかり」で探る遠方銀河の中間赤外線放射特性 高木俊暢 (宇宙航空研究開発機構)
17:42	X20a SXDS 領域における赤方偏移 z ~ 2 の高密度領域銀河の分光追観測 古澤順子 (国立天文台)	09:54	X30a 超広帯域ミリ波サブミリ波観測に基づく大規模構造の進化の研究: 進捗状況 河野孝太郎 (東京大学)
17:54	X21a GOODS-N 領域における z=2.2 の H α 輝線銀河探査 但木謙一 (東京大学)	10:06	X31a The First Broadband Millimeter-wave Spectroscopic Study of the Warm Molecular Gas around the Cloverleaf Quasar 松原英雄 (宇宙航空研究開発機構)
18:06	X22b z ~ 1 における比星形成率の環境依存性 井手上祐子 (愛媛大学)	10:18	X32a 原始銀河団中心の原始キューサー?: サブミリ波銀河 SSA22-AzTEC1 の多波長分析 田村陽一 (国立天文台)

Y. 天文教育・その他

		3月24日(水) 午後1・E会場
10:30	X33a	AzTEC/ASTEでSXDF領域に発見した超高光度サブミリ波銀河 五十嵐創(東京大学)
10:42	X34a	サブミリ波銀河SXDF850.6の対応天体同定および多波長データによる詳細研究 廿日出文洋(東京大学)
10:54	X35a	赤方偏移3のライマン α 輝線銀河が示す種族III星あるいは超低金属星の兆候 井上昭雄(大阪産業大学)
11:06	X36a	SSA22 Z=3.1 LAEのライマン α 輝線と連続光の空間的ズレの測定 堀江光典(東北大学)
11:18	X37a	吸収線系の赤外線高分散分光で探る高赤方偏移の銀河形成～重力レンズクェーサーAPM08279+5255の $z=3.5$ 低電離金属吸収線系～ 近藤荘平(東京大学)
		3月25日(木) 午後・C会場
13:30	X38a	Stellar Populations of Lyman-alpha Emitters at $z=4.86$: A comparison to $z \sim 5$ LBGs Yuma Suraphong(京都大学)
13:42	X39a	すばる望遠鏡を用いた赤方偏移 $z \sim 7$ クェーサー探査 石崎剛史(総合研究大学院大学)
13:54	X40a	SDF and SXDF survey for Lyman Alpha Emitters at $z=7.3$ 澁谷隆俊(総合研究大学院大学)
14:06	X41a	階層的構造形成理論に基づく初代星形成 井上芳幸(京都大学)
14:18	X42a	最果ての銀河は本当に最果ての銀河か? 塩谷泰広(愛媛大学)
13:00	Y01a	7～8世紀の日本の天文学 相馬 充(国立天文台)
13:12	Y02a	日本天文学会男女共同参画委員会による理系進路選択支援事業 林 左絵子(国立天文台)
13:24	Y03a	関西の複数大学で行う「女子中高生のための関西科学塾2010」の報告 野上大作(京都大学)
13:36	Y04a	天文学コミュニティが地域で主導する「科学祭」実施の可能性についての考察 縣 秀彦(国立天文台)
13:48	Y05b	東京国際科学フェスティバル開催による「科学」を通じた地域コミュニティ形成の試みー第1回開催報告と第2回開催に向けてー 永井智哉(国立天文台)
13:48	Y06b	「東京サイエンスネットワークの構築」国立天文台による地域ネットワークの取り組み 内藤誠一郎(国立天文台)
13:48	Y07b	世界天文年2009「めざせ1000万人! みんなで星を見よう」の実施について 石坂千春(大阪市立科学館)
14:00	Y08b	ハワイでの世界天文年企画1:天文学トレーディングカードと宇宙ポスターコンテスト 白田-佐藤 功美子(国立天文台)
14:00	Y09b	ハワイでの世界天文年企画2:マウナケア天文台群・山麓施設合同公開日、ガリレオ・ブロックパーティー 白田-佐藤 功美子(国立天文台)
	Y10c	世界天文年における高校生天体観測ネットワークの取り組み 篠原秀雄(埼玉県立蕨高校)
	Y11c	高校天文部におけるBSアンテナを用いた電波観測の取り組み 篠原秀雄(埼玉県立蕨高校)

	Y12c 放射温度計による月の観測 鈴木文二(埼玉県立春日部女子高校)	17:06	Y23b 教員を対象にした天体望遠鏡実習の効果 下井倉ともみ(東京学芸大学)
14:00	Y13b 君が天文学者になる4日間(君天)ー 10年間の実践のまとめ 室井恭子(国立天文台)	17:06	Y24b ぐんま天文台の10年の活動 田口光(ぐんま天文台)
14:12	Y14a 全国の高校生に君天を! ver.1ー郡山市 ふれあい科学館の試み 水谷有宏(郡山市ふれあい科学館)		Y25c みさと8m電波望遠鏡の現状報告と今後の計画 佐藤奈穂子(和歌山大学)
14:24	Y15a 全国の高校生に君天を! ver.2ー姫路 市宿泊型児童館・星の子館の試み 塚田健(姫路市星の子館)	17:06	Y26b 日食における県内への天文教育普及 ー学校・地域団体へ向けてー 橋本未緒(佐賀県立宇宙科学館)
14:36	Y16a 分野を超えた若手研究者の協力による、 小学生向け連続出張授業「アストロ バイオロジー教室:地球といのち のキセキ」 成田憲保(国立天文台)	17:18	Y27a かごしま丸2009皆既日食航海による 海上気象変動の観測研究 仁科文子(鹿児島大学)
14:48	Y17a ルワンダへの出前授業 高橋慶太郎(名古屋大学)	17:30	Y28a デジタルドームシアターで見る皆既日食 吉住千亜紀(和歌山大学)
3月24日(水)午後2・E会場		17:42	Y29a 日食による月と太陽の距離測定 大西浩次(長野高専)
16:30	Y18a 2009年全国同時SETI観測実験(本 観測)電波部門の報告 藤下光身(東海大学)	17:54	Y30a 『DVD「太陽のなぞに迫る」上映キャ ンペーン』の実施と結果 殿岡英顕(国立天文台)
16:42	Y19a デジタル一眼レフカメラを用いた全国一 斉公開実験「デジカメ星空診断」につ いて 小野間史樹(星空公団)	18:06	Y31a 月周回衛星かぐやの月面高度データ を用いた映像「月面全体の地形図」 の制作 中山弘敬(国立天文台)
16:54	Y20b 甲府盆地における市街光と夜空の明る さの同時観測 野村詩穂(星空公団)	18:18	Y32a デジタル動画を用いた天文学の教育 普及 3. 望遠鏡のしくみの動画教材 渡辺謙仁(大阪教育大学)
16:54	Y21b 小学校における天文部活動「アストロ クラブ」の試み 高梨直紘(東京大学)	18:30	Y33a マルチモーダル版天文学教科書の評 価事業 嶺重慎(京都大学)
16:54	Y22b 日本水ロケットコンテスト2009の開催 報告 高木俊暢(宇宙航空研究開発機構)		

2010年2月20日発行

年会実行委員会

委員長	本間 希樹	(国立天文台)
委員	今西 昌俊	(国立天文台)
	岡 朋治	(慶應義塾大学)
	鹿野 良平	(国立天文台)
	幸村 孝由	(工学院大学)
	小久保 英一郎	(国立天文台)
	左近 樹	(東京大学)
	鈴木 知治	(東京大学)
	宮田 隆志	(東京大学)
	奥村 幸子	(国立天文台) 保育室担当

年会開催地理事

小 嶋 康 史 (広島大学)